

14.24
48



始



大正六年度

滋賀縣水產試驗場報告

滋賀縣水產試驗場

14₂-48

大正六年度滋賀縣水產試驗場報告

目次

第一事業部

一、鯉苗養成及放流事業(第十年).....	一頁
二、鱒苗養成及放流事業(第十年).....	一五頁
三、鱒苗購入及放流事業(第十年).....	二八頁
第二試驗部	
一、鱒池中養殖試驗.....	三〇頁
二、虹鱒池中養殖試驗.....	三七頁
三、鱒兒生餌飼育試驗.....	四四頁
四、仔鰻飼育試驗.....	五四頁
五、公魚移殖試驗.....	六〇頁
六、溫水性魚族養殖ニ關スル試驗.....	六二頁

大正
8.5.19
内交

イ、鯉及鮎兒ノ越冬試験
 ロ、鮎採卵及飼育試験
 ハ、鮎産卵孵化試験
 ニ、支那産鳥介移殖試験
 ヒ、瀬田川下リ鰻捕獲試験

六九頁
 七五頁

第三 調査、魚卵魚兒親鯉配付、講話及指導

一、鳥介類体形調査
 二、湖水調査
 三、漁況調査
 四、魚兒魚卵無償配付
 五、鮎兒有償配付
 六、親鯉有償配付
 七、講話及實地指導

八一頁
 九三頁
 一〇三頁
 一〇七頁
 一一〇頁
 一二三頁

附録、縣下養魚概況及琵琶湖水温水位表

大正六年度滋賀縣水産試験場報告

事業部

一、鯉苗養成及購入放流事業 (第十年)

本年度鯉苗放流豫定數ハ前年度ニ同シク八百萬尾ニシテ内二百萬尾ハ民間養殖業者ヨリ購入シ其ノ他ハ總テ本場ニ於テ養成セントスルモノナルモ鯉苗ノ飼養ニ充ツベキ附屬彥根養魚場飼養池ハ臨時大改修工事施行ノ必要上池面全部ヲ使用スルコト不能故ニ飼養池ノ半面及本場内試験池ノ一部ヲ使用シ放養數ヲ減シテ魚兒ノ速成ヲ計リ放流スルコト、セリ以下事業執行經過ノ狀況ヲ記サントス

親魚及飼育

前年度産卵後ヨリ本年度産卵ニ至ル一ケ年間飼養中斃死減耗數雌百十四尾雄九十七尾計二百一十一尾ニシテ本年三月ニ七十五尾ノ補充ヲナシタルヲ以テ同月末現在雌一千二百〇七尾雄一千六百九十七尾總計二千九百〇四尾之レヲ飼養池十四個面積一千二百九十三坪ニ雌雄分養ス飼養法等從來ニ異ナルコトナク餌料ハ三月十七日ヨリ給與

シ始メ漸次給餌量ヲ増シ専ラ壓搾蠶蛹及田螺ノ碎破シタルモノヲ用ヒ生殖素ノ成熟シタルモノヨリ取り揚ゲ産卵池ニ移シテ五月十五日ヨリ七月十五日ニ至ル此ノ間前後十二回ニ産卵セシメタリ産卵池ニ移シタル親魚ハ毎回産卵終ルヤ直チニ飼養池ニ放還シテ餌料ヲ與ヘ翌年抹卵ニ差支ナキ様生殖機能ノ回復ニ力メタリ今此ノ親魚飼養ニ要シタル本年度給餌料ハ田螺九十六貫匁乾燥蠶蛹五百五十五貫匁六百匁醬油粕百七十九貫匁九百匁ニシテ之ヲ三月十七日ヨリ九月二十二日ニ至ル此ノ間百三十七回ニ給與セリ投餌量ヲ月別ニ表示スレバ左記ノ如クニシテ前年度ニ比シ餌量及投餌回数ヲ減シタルハ主トシテ産卵後ノ親魚ニ病症ヲ發シタル爲メナリ

親魚給餌量表

月次	投餌回数	田螺	蠶蛹	醬油粕	月次	投餌回数	田螺	蠶蛹	醬油粕
六月	一	九六〇〇	三六〇〇	一七九〇〇	七月	二五	九三九〇	一三六〇〇	一七九〇〇
五月	三	九六〇〇	三六〇〇	一七九〇〇	八月	三三	一三九八〇〇	一三六〇〇	一七九〇〇
四月	二	九六〇〇	三六〇〇	一七九〇〇	九月	三	九六〇〇	三六〇〇	一七九〇〇
計	九	九六〇〇	三六〇〇	一七九〇〇	計	三三	九三九〇	一三六〇〇	一七九〇〇

採卵及孵化

産卵池ハ前年ニ同ジク叩池面積八坪ニシテ水深二尺ノモノ四個ヲ使用セリ採卵及孵化ノ方法モ又從來ニ異ナルコトナシ産卵期間ハ前年度ヨリ七日間晚レテ着手シ五月十七日ヨリ始メ七月十五日ニ終ル此ノ間十二回ニ産卵セシメタリ産卵ヲ行ヒタル雌魚ハ六百四十一尾ニシテ此レニ配合シタル雄魚ハ一千三百九十八尾ナリ採卵總數六千八百二十一萬五千五百粒ニシテ雌一尾ニ對スル平均採卵數十萬〇六百四十二粒ニ相當シ前年度採卵數ニ比較シ一尾ニ付一千三百粒ヲ増シタリ一回ノ採卵數最多八八四八〇〇粒最少二五六八〇〇〇粒ニシテ平均五六八四六二〇粒トス魚巢ハ日蔭暨及金魚藻(ふさも)ノ二種ヲ使用シ産卵池ニテ産付シタル着卵魚巢ハ取り揚ゲ全部本場内孵化池ニ收容シテ孵化セシメタリ孵化魚兒ハ孵化後數日間孵化池ニ飼養シ後チ取り揚ゲ搬出シテ本場附屬彦根養魚場飼養池ノ内十四池面積七千七百二十七坪及ビ本場内試驗池十三池面積四百九十九坪ニ放養ス此ノ取り揚ゲ放養魚兒數五百二十五萬六千五百尾ニシテ孵化生存率(採卵數ニ對スル)平均七七二%相當シ前年度成績ニ比シ三九%ノ不良ヲ來セリ之レ主トシテ越冬中未曾有ノ寒冷ヲ感シタル爲メ既ニ親魚中健康ヲ害シタルモノアルト産卵初期

ニ於ケル氣象ノ不順ニ因ルコト大ナリ即チ一回ノ取揚孵化魚數四萬九千尾乃至百四十五萬尾ニシテ平均四十三萬八千尾トス孵化生存率ノ良好ナルハ第六回採卵ノ一八・一%トシ最モ不良ナルヲ第三回採卵ノ〇・一%トス今採卵孵化ノ概要ヲ表示スレバ左表ノ如シ而シテ本年度採卵ニ使用シタル母魚ハ飼養數ノ大半ニ不過ルモ飼養池ノ都合ニヨリ殘魚ノ採卵ヲ見合セリ

採卵親魚表

採卵回数	系統	親魚ノ數		雌ノ体形		雄ノ体形		年	雌	雄	齡
		雌	雄	體長	體量	體長	體量				
第一回	大和鯉	三	六	一七・五	六〇	一六〇	四六〇	四才乃至十才	三才乃至十才		
第二回	同上	四	八	二〇・〇	二〇〇	一七〇	五〇〇	四才乃至十二才	三才乃至十一才		
第三回	同上	三	一〇	二〇・〇	二〇〇	一六七	五〇〇	四才乃至十二才	三才乃至十二才		
第四回	同上	三	六	二〇・〇	二〇〇	一七〇	五〇〇	四才乃至十才	三才乃至十才		
第五回	同上	七	七	二四・五	二五〇	二三五	一〇〇〇	四才乃至十五才	三才乃至十五才		
第六回	同上	九	一六	二五・〇	二五〇	一七五	四八〇	四才乃至十二才	三才乃至十二才		

産卵孵化表

採卵回数	系統	親魚ノ數	雌ノ体形	雄ノ体形	年	雌	雄	齡
第七回	同上	三	二五〇	一九八	七〇〇	四才乃至十才	三才乃至十二才	
第八回	同上	三	二五〇	一五〇	四八〇	四才乃至十才	三才乃至十才	
第九回	同上	四	二五〇	一五九	四五〇	四才乃至十才	三才乃至十才	
第一〇回	同上	六	一五五	一六五	四九〇	四才乃至十才	三才乃至十才	
第一一回	同上	五	一六〇	一六〇	四七〇	四才乃至十二才	三才乃至十才	
第一二回	同上	四	二四〇	一六〇	四七〇	四才乃至九才	三才乃至十才	
計		三九	一三九八	一〇〇〇	三三〇〇			

採卵回数	着卵材料		産卵時	採卵數	孵化時	孵化魚兒 搬出尾數	百分率	使用 孵化池
	材料	量						
第一回	日蔭盤	一四六五	自五月二〇日午前一時半 至同月二〇日午後五時	八八四八〇〇	自五月二〇日午前六時 至同月二二日午前六時	九〇〇〇	一・〇	八
第二回	同上	九三〇〇	自五月二〇日午前一時 至同月二二日午前六時	四六五〇〇〇	自五月二二日午前八時 至同月二五日正午	一五〇〇〇	〇・三	五
第三回	同上	一六三五〇	自五月二三日午前六時 至同月二五日午前〇時	八五〇一〇〇〇	自五月二七日午前六時 至同月二九日午前六時	七五〇〇	〇・一	一〇

計	第一二回同	第一回同	第一〇回同	第九回同	第八回同	第七回同	第六回同	第五回同	第四回同	金魚藻
日陰	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
藻	一五二六〇五	六八二〇	一九七四五	一一二二五	二二〇〇〇	二二七五〇	二〇〇二五	一〇・五〇〇	二二九四〇	二四三〇
	自五月二七日午前一時半	自七月一四日午前四時	自七月八日午前三時	自七月四日午前九時	自六月三〇日午前四時	自六月二〇日午前四時	自六月一三日正午	自六月一〇日午前八時	自五月三〇日午前二時	自五月三〇日午前二時
	至七月二五日前一〇時	至同月一〇日午後六時	至同月一〇日午後六時	至七月二日午前九時	至同月二四日午前二時	至同月二二日正午	至同月一三日正午	至同月一日午前八時	至同月三〇日午前二時	至同月三〇日午前二時
	六八二二五五〇	二七三〇〇〇	五九三三五〇	五五六・五〇〇	六〇〇〇〇〇〇	六・三七五〇〇〇	八〇一〇・〇〇〇	五二五〇・〇〇〇	三七六六・五〇〇	五三三・〇〇〇
	自五月二〇日午前六時	自七月一六日午前八時	自七月二日午前一〇時	自七月六日午前二時	自六月二二日午前七時	自六月一六日午後八時	自六月十五日午前五時	自六月一四日午後六時	自六月二日午後六時	自六月二日午後六時
	至七月一八日午前八時	至同月一八日午前八時	至同月二日午後六時	至同月五日午後二時	至同月二六日午後七時	至同月二四日午後二時	至同月一六日午後八時	至同月一四日午後六時	至同月四日午後六時	至同月四日午後六時
	五二五六・五〇〇	一七二・〇〇〇	六八・〇〇〇	四九・〇〇〇	七五七・〇〇〇	一〇一三・〇〇〇	一四五〇・〇〇〇	九〇〇・〇〇〇	五三三・〇〇〇	五三三・〇〇〇
	平均	六七	二五	三八	一一五	一五九	一八一	一七一	一四〇	一四〇
	七七	三三	三六	五〇	六四	一〇〇	一二三	七〇	六八	六八

魚兒ノ養成

魚兒飼養ノ方法等從來ニ異ナラサルモ彦根養魚場飼養池ハ臨時改修工事施行上池全面ヲ使用スルコト不能且ツ飼育期間ヲ短縮セザルベカラサルヲ以テ飼養池二十七池ノ内十四池之ノ面積七千七百二十七坪及ビ本場ハ試験池十三池面積四百九十九坪ヲ使用シテ養成スルコト、シ且ツ放養數前年ニ比シ坪當リ百七

十餘尾ヲ減ジ六百三十九尾ノ割ヲ以テ放養シ魚兒ノ成育ヲ促進セシムルコトニ務メタリ飼養池ハ前年度秋季飼養魚ノ取揚後其ノ儘池水ヲ落水シテ冬期間池底ヲ乾涸シ春季ニ至リ魚兒放養ニ先チ害蟲驅除及ビ池中發生ノ雜草ヲ除キ且ツ市中ヨリ流入シタル有機物質ヲ分解シテ餌蟲ノ蕃殖ヲ促サンガ爲メ五月九日ヨリ六月四日ニ亘リ池面一百坪ニ對シ石灰十四貫五百匁ノ割ヲ以テ總量一千二百貫(三百俵)ヲ撒布シ後チ漸次池水ヲ停溜セシメテ更ニ粉沫大豆粕ヲ池面十坪ニ對シ約六百匁ノ割ニテ五月十五日ヨリ六月十九日迄ニ總量五百貫匁ノ施肥ヲナシ天然餌料ノ増殖ヲ計リシガ餌蟲ノ發生前年度ヨリ更ニ稍々早ク五月十六日ヨリ發生シ始メ七月四日ニ至リ全ク消滅セリ此ノ間發生ノ盛期ハ六月上旬ニシテ其ノ量池水一立方尺ニ對シ九、立方「センチメートル」ヲ算セリ此ノ如クニシテ放養準備ヲ了ヘ餌蟲ノ繁殖盛ナル池ヨリ魚兒ヲ放養スルコト五月二十四日ヨリ七月二十日ニ至ル二十三回ニ本場孵化池ヨリ取揚ケタル魚兒五百二十五萬六千五百尾ヲ左ノ割合ニテ放養セリ但シ七月中放養セシモノハ本場試験池トス

五月中放養ニ係ルモノ飼養池 一四池 魚兒數 四、六五二、〇〇〇尾 坪當リ放養數 六〇二尾

七月中放養ニ係ルモノ飼養池 一三池 魚兒數 六〇四、五〇〇尾 坪當リ放養數 一、二一一尾

飼養池へ放養シタル魚兒ハ池中ノ天然餌料食了ヲ俟テ人工餌料トシテ蠶蛹粉小麥粉及ビ糠(からこ)ノ三種ヲ給與シ常ニ池水ノ調節水藻及萍ノ除去ニ務メタリ水深ハ五寸乃至二尺ニシテ飼養中ノ水温最高七月三十一日ノ三十三度七最低六月九日ノ十八度(毎日午前十時觀測)ニシテ放養當時あみ、ごら發生ノ外著

シキ障害ヲ認メズ池水ノ變化及病魚ノ發生等ナリ魚兒ハ安全ニ發育セリ

人工餌料ヲ給シ始メタルハ六月十八日ニシテ之レヨリ九月三日ニ至ル一池ノ給餌日數六十日乃至六十七日ニシテ一日ノ給餌量六百匁乃至十五貫七百三十五匁總給餌日數七十七日平均一日ノ給餌量拾貫三百六十匁余給餌總量小麥粉二十八貫七百匁麩粉三百二十八貫六百匁蠶蛹粉四百四十貫九百匁合計七百九十八貫二百匁ヲ要セリ月別給餌量ヲ表示スレバ左ノ如シ

月別	投餌日數	一日ノ投餌量		餌料別總量		
		最多	最少	小麥粉	麩粉	蠶蛹粉
六月	三	一・四〇〇 貫匁	〇・六〇〇 貫匁	五八〇〇 貫匁	—	—
七月	三〇	二・一〇〇	一・四〇〇	三三九〇〇	九二・一〇〇	一五四・五〇〇
八月	三二	一・五七三	二・三六四	—	二二六・八四〇	二四五・一〇〇
九月	三	二・三六四	二・三六四	二八七〇〇	三二八・六〇〇	四四〇・九〇〇
計	七					

飼養期間ハ放養始メ五月廿四日ヨリ取揚終了九月二十一日迄百二十日間ニシテ一池ニ對スル飼養日數七十日乃至百〇五日トス

取揚ハ九月六日ヨリ着手シ九月二十一日ニ至ル十四回ニ全部取揚ゲ修了セリ
取揚魚ハ前年ニ比シ体勢稍々大ニシテ平均体量零匁九厘体長零寸二分ヲ増シ即チ平均体長一寸七分同体量零匁五分二厘弱ニ相當シ總尾數二百二十六萬八千七百六十尾ヲ得之レヲ琵琶湖放流魚トシテ九月七日ヨリ十月六日ニ至ル十三回ニ順次搬出シ本放流船及雇入生洲船一隻ヲ使用シテ琵琶湖ノ各所へ放流セリ
以上魚苗飼育ノ概要次ノ如シ

飼育成績概要

飼養地面積 (二七池)	放養尾數	取揚尾數	減耗率	餌料別及數量	取揚魚一萬尾ニ對スル餌量
八、二二六坪	五、二五六、五〇〇尾	二、二六八、七六〇尾	五六、八%	蠶蛹粉 四四〇貫九〇〇匁 小麥粉 二八、七〇〇匁 麩粉 三二八、六〇〇匁	三、五一八匁
放養期	飼養日數	取揚期	放養時平均体形	投餌日數	取揚魚平均体形
自五月二十四日至七月二十日	七〇日乃至百〇五日	自九月六日至九月二十一日	零寸三分零匁〇三厘	六十日乃至六十七日	一寸七分零匁五分二厘弱

鯉苗購入

前年度ニ等シク民間養魚ノ指導ヲ行ヒ稻田ヲ利用シ農家ノ副業的養殖ヲ獎勵シ秋季ニ至リ是等當業者ノ生産シタル鯉苗ヲ沿湖ニ於テ購入ノ上放流セリ今購入成績ヲ郡別ニ記載スレバ左ノ如シ

郡別	買上數量	同上尾數	同上金額
滋賀郡	159,000	71,110	269,610
栗太郡	35,800	14,990	59,250
野洲郡	11,100	3,800	41,990
甲賀郡	41,990	30,930	84,670
蒲生郡	104,600	57,300	187,540
愛知郡	167,930	82,287	294,500
犬上郡	19,505	8,809	33,010
坂田郡			

郡別	買上數量	同上尾數	同上金額
東淺井郡			
伊香郡			
高島郡	337,976	181,336	605,280
計			

百匁ニ對スル購入價格 自一寸五分至三寸ノモノ 二十一錢
自三寸一分至五寸ノモノ 十四錢

放流

放流鯉苗ハ前記ノ如ク本場養成ニ係ルモノ二百二十六萬八千七百六十尾及ビ購入鯉苗百八十一萬三千二百三十六尾ニシテ總數四百〇八萬一千九百九十六尾ヲ八月三十日ヨリ十月六日ニ至ル前後四十四回ニ搬出シテ放流スルコト左ノ如シ

本場養成ニ係ルモノ	體長 自一寸零分至五寸零分	體量 自零匁二分至十二匁零分	放流 自九月七日至十月六日
民間ヨリ購入ニ係ルモノ	體長 自一寸五分至五寸零分	體量 自零匁四分五至十四匁零分	日時 自八月三十日至十月六日

放流地點別

湖南區 五六九、七四一尾

放流地點ヲ細別スレバ左ノ如シ

湖東區 三、〇五四、六九一尾
湖西區 四五七、五六四尾
計 四、〇八一、九九六尾

放流回数	放流日時	放流場所	放流尾數	放流魚體長	平均體量	記事
第一回	大正六年八月三十日午後五時	愛知郡愛知川尻沖	三、四七五	一寸五分乃至五寸	一五	購入魚
第二回	八月三十日午前十時	縣設第三禁漁區	二、三七〇	一寸五分乃至五寸	一七	同上
第三回	八月三十日午後五時	縣設第四禁漁區	三、七六〇	一寸五分乃至五寸	一七	同上
第四回	八月卅一日午後四時	縣設第二禁漁區	一、五五〇	一寸五分乃至五寸	三四	同上
第五回	八月卅一日午後四時	蒲生郡長命寺沖	三、九五	一寸五分乃至五寸	一八	同上
第六回	九月一日午前九時	縣設第四禁漁區	七、一四五	一寸五分乃至五寸	一九	同上
第七回	九月二日午前十一時	犬上郡多景島沖岸	四、五〇三	一寸五分乃至五寸	一六	同上
第八回	九月二日午前十時	蒲生郡岡山沖	二、二四〇	一寸五分乃至三寸	一五	同上
第九回	九月三日午前九時	縣設第二禁漁區	六、〇一三	一寸五分乃至三寸	二〇	同上

第一〇回	九月三日午後三時	同 上	一〇、七二〇	一寸五分乃至五寸	一六	同上
第一一回	九月四日午前八時	縣設第四禁漁區	四、四三九	一寸五分乃至五寸	二七	同上
第一二回	九月四日午後八時	縣設第三禁漁區野洲郡吉川沖	七、五二〇	一寸五分乃至五寸	二三	同上
第一三回	九月五日午後二時	蒲生郡沖島沿岸	一、八八九	一寸五分乃至五寸	一七	同上
第一四回	九月五日午後四時	縣設第四禁漁區	七、三三二	一寸五分乃至五寸	二四	同上
第一五回	九月六日午前二時	縣設第四禁漁區	七、四八八	一寸五分乃至五寸	二〇	同上
第一六回	九月六日正午	野洲郡野洲川北流沖	五、六八〇	一寸五分乃至五寸	一五	同上
第一七回	九月六日午後二時	滋賀郡堅田沖	一、七六二	一寸五分乃至五寸	一八	同上
第一八回	九月七日午前十時	縣設第四禁漁區	二、九八〇	一寸五分乃至五寸	〇六	養成魚
第一九回	九月七日午前九時	同 上	一、九七五	一寸五分乃至五寸	二四	購入魚
第二〇回	九月七日午前十一時	同 上	一、四四〇	一寸五分乃至五寸	一四	購入魚
第二一回	九月七日午後四時	蒲生郡沖島沿岸	一、七二〇	一寸乃至三寸五分	〇六	養成魚
第二二回	九月八日午前四時	縣設第四禁漁區	二、五三〇	一寸乃至三寸五分	〇六	同上
第二三回	九月八日午後四時	野洲郡吉川沖	九、四五〇	一寸五分乃至五寸	一七	購入魚

第二四回	九月九日午前九時	縣設第三禁漁區	四、五九〇	一寸五分乃至五寸	一四三	同上
第二五回	九月九日午後三時	神崎郡伊庭内湖	六九、六七〇	一寸五分乃至五寸	一四三	同上
第二六回	九月十一日午前九時	縣設第二禁漁區	二九、六八〇	一寸五分乃至五寸	一七九	同上
第二七回	九月十一日正午	縣設第四禁漁區	一九、二〇〇	一寸乃至三寸五分	〇六〇	養成魚
第二八回	九月十一日午後三時	同上	一〇四、八〇〇	一寸乃至三寸五分	〇六〇	同上
第二九回	九月十二日午後一時	同上	一四、三〇〇	一寸乃至三寸五分	〇六〇	同上
第三〇回	九月十二日正午	縣設第二禁漁區	一四、九九〇	一寸五分乃至五寸	二三八	購入魚
第三一回	九月十三日正午	同上	三七、八九〇	一寸五分乃至五寸	二五〇	同上
第三二回	九月十四日正午	同上	二八、九二〇	一寸五分乃至五寸	一八八	同上
第三三回	九月十四日午後一時	坂田郡長濱沖	一五、二〇〇	一寸乃至三寸五分	〇五〇	養成魚
第三四回	九月十五日正午	滋賀郡膳所町沖	五、三〇〇	一寸五分乃至五寸	一八四	購入魚
第三五回	九月十六日午後二時	坂田郡長濱沖	四、六四〇	一寸五分乃至三寸	一三五	同上
第三六回	九月十六日午後四時	高島郡北舟木沖	二七、九六〇	一寸乃至三寸	〇五〇	養成魚
第三七回	九月十九日午後五時	伊香郡鹽津沖	一七、二〇〇	一寸乃至三寸	〇五〇	同上

第三八回	九月十九日午後五時	同上	二、七四〇	一寸五分乃至五寸	三二〇	購入魚
第三九回	九月二十日午後四時	縣設第四禁漁區	三、七〇〇	一寸乃至三寸	〇五〇	養成魚
第四〇回	九月廿二日午後一時	坂田郡長濱沖	二八、〇〇〇	一寸乃至三寸	〇三〇	同上
第四一回	九月廿五日正午	同上	二六、二〇〇	一寸乃至三寸	〇五〇	同上
第四二回	十月二日午後四時	縣設第三禁漁區	四、五七〇	一寸五分乃至五寸	一八五	購入魚
第四三回	十月六日午前七時	縣設第四禁漁區	八七、一八二	一寸五分乃至五寸	一二九	同上
第四四回	十月六日午前七時	同上	四、九六〇	一寸乃至五寸	〇五〇	養成魚
計			四、〇八一、九六九			

二、鱒苗養成及ヒ放流事業 (第十年)

(一) 親魚ノ捕獲及ビ採卵

親魚漁場ハ天野川以下十二箇所ノ築並ニ其ノ附近ニ散在セル魼ヲ主トシ往々小絲網四手網等ニテ捕獲セ
ルモノ、内優良ナルモノハ之ヲ用ヒ凡テ七採卵場ニ於テ蒐集セシコト例年ニ同シケレド本年度ハ九月以
降屢次降雨アリシ爲ニ親魚ノ未熟ナルモノ多ク漁獲セラレ殊ニ十月初ニ於ケル出水ハ久シク減退セズ各
河川ノ増水甚シク河口附近ニ於テ築其ノ他ノ漁具ヲ用フルノ餘地ナク琵琶湖亦近年未ダ之レアラザル高

水位ヲ示シ沿湖隨處ノ鮒皆用ヲナサズシテ採卵期ニ入リシガ故ニ適當ナル親魚ノ供給殆ド杜絶シ空シク其大部ヲシテ上流ニ逸セシメ自然放卵ニ委セシムルノ止ムナキニ至レリ十一月下旬ニ至リ河川湖水共ニ減水セシト雖モ既ニ盛期ヲ失シ亦價フベカラズ總漁獲高二百五十四貫百九十匁ノ内一日ノ最多安曇川築漁二十貫七百匁同シク最少野洲川鮒漁一百匁ニシテ就中採卵ニ使用セン親魚ハ雌二百一尾雄一百三尾ニ過ギズ雌一尾ノ平均採卵數一千〇九十九粒ニシテ各採卵場ニ於ケル漁獲高及ビ採卵數左ノ如シ

採卵場	漁場	採卵期間		漁獲高	親魚數		一日採卵數		採卵數	雌一尾平均採卵數
		始	終		雌	雄	最多	最少		
天野川	川	二月六日	二月八日	三三六〇	五尾	三尾	八,000粒	二,000粒	四九,二〇〇粒	八四八尾
同上	湖									
姉川	川			三六四〇	四	二	三,000		三〇,〇〇〇	七五〇
同上	湖									
余呉川	川			二七九〇	八	二	六,四〇〇	四,〇〇〇	一〇,四〇〇	一,三〇〇
同上	湖									
知内川	知内川			六,一〇〇	三	六	三,一〇〇	五〇〇	一四,九〇〇	一,一四六
同上	湖									
石田川	石田川									

右採卵場ニ於テ使用セン親魚ノ平均体長体重ハ左ノ如シ

体長	採卵場	漁場	平均体長		平均体重		平均採卵數
			寸	分	匁	兩	
一四.五	姉川採卵場		一〇.二	二.八	二〇.一	一〇.一	一五.九
一五.〇	知内川採卵場		一一.三	二.八	一〇.一	一〇.一	一五.〇
一五.五	安曇川採卵場		一一.二	二.八	一〇.一	一〇.一	一五.五
一五.二	野洲川採卵場		一一.五	二.六	一〇.一	一〇.一	一五.二
一五.二	平		一一.二	二.八	一〇.一	一〇.一	一五.二
一五.二	均		一一.二	二.八	一〇.一	一〇.一	一五.二

体	重	二一〇 _g	二〇〇 _g	二八〇 _g	二二〇 _g	一八	二二〇 _g
---	---	------------------	------------------	------------------	------------------	----	------------------

即チ体長一尺四五寸体重二百三四十_gノモノ最モ多キハ前年ト大差ナシ
採卵期中ノ氣象ハ各採卵場ニ於テ毎日午前十時一回ツヽノ觀測セリ

觀測日數	氣温			午前十時 採卵場
	最	最	平	
雨曇晴快晴	低	高	均	姉川採卵場
二 六 二 二	四六	一七八	二二二	知内川採卵場
三 五 三 一	四〇	二〇〇	一四五	安曇川採卵場
九 八 二 四	四二	一八二	二三二	野洲川採卵場
六 八 三	六八	一八二	二三三	

風向	種風			最多風向
	強	疾	軟	
以上	疾	軟	靜	北及北西
底	高	均	均	北
二六	一八五	一五六	二二四	西
一〇〇	二〇〇	一六二	一〇八	北
二二〇	二〇六	一五七	二二一	西
八七	二〇〇	一三七	二三五	北

但シ天野川、余吳川、宇曾川各採卵場ハ全ク觀測ヲ欠クヲ以テ本表中ヨリ之ヲ畧セリ

十一月一日ヨリ同月二十日マデ鱒禁漁期中ノ採卵數ハ合計八萬壹千七百粒ニシテ安曇川最モ多ク參萬壹千粒ニシテ天野川知内川之ニ次グ左ニ禁漁期間ノ鱒漁獲高及ビ採卵數ノ累年比較ヲ表示ス

	明治四十一年度		明治四十二年度		明治四十三年度		明治四十四年度		大正元年	
	漁獲	採卵	漁獲	採卵	漁獲	採卵	漁獲	採卵	漁獲	採卵
和邇川	六六	二六,二〇〇粒	一四三	七七,五〇〇粒	六七	三七,〇〇〇粒	二九,一〇〇	六七,〇〇〇粒	一七,二八〇	二五,〇〇〇粒
野洲川	—	—	(北) 二五	八六,〇〇〇	二六	一〇,〇〇〇	—	—	(南) 三,四〇〇	一〇,〇〇〇
字曾川	三八三	二九,〇〇〇	三八	一〇,二五〇	一八八	一三六,〇〇〇	四九,四〇〇	二二,〇〇〇	一〇八,二〇〇	三七,一〇〇
犬上川	六三	三四,四〇〇	八一	四一,〇〇〇	一七	一〇,〇〇〇	二,四〇〇	一,〇〇〇	—	—
天野川	七六六	三七,七八〇	八〇五	二五,〇〇〇	三六五	一七三,〇〇〇	八三,〇〇〇	二四,〇七〇	一五,四〇〇	二四,〇〇〇
姉川	九一九	三八,二〇〇	一八〇	一〇〇,〇〇〇	二二七	一六二,〇〇〇	二七,一五〇	四八〇,〇〇〇	九,一三〇	二二,〇〇〇
余呉川	—	—	三五三	一八〇,〇〇〇	九四	四一,〇〇〇	三四〇,五〇〇	五六,〇〇〇	三五,八〇〇	一〇七,〇〇〇
知内川	五八八	一八五,二〇〇	三九五	一六八,〇〇〇	五九六	二七三,〇〇〇	一四,一八〇	一四七,七〇〇	八五,九〇〇	二九六,〇〇〇
石田川	五六九	二三五,八〇〇	九九	三五,五〇〇	一〇三	四五,〇〇〇	—	九九,八〇〇	二六,六〇〇	八七,〇〇〇
安曇川	三一八七	九六四,〇〇〇	二,〇五九	一,三七八,〇〇〇	二六八	一九四,〇〇〇	二〇,一〇〇〇	六八七,〇〇〇	九四,九五〇	三六六,〇〇〇
仁保川	—	—	—	—	—	—	—	—	四三,五五〇	一〇〇,〇〇〇
合計	六,五二二,三三四	二,〇四〇,一〇〇	四,四五八,二三四	一,三四一,一〇〇	一,九二一,〇八一	七,四二九,〇二二	二,〇〇一,二〇〇	五,三三四,〇〇一	二,八四三,〇〇〇	—

	大正二年度		大正三年度		大正四年度		大正五年度		大正六年度	
	漁獲	採卵	漁獲	採卵	漁獲	採卵	漁獲	採卵	漁獲	採卵
和邇川	三,九二〇	一一,〇〇〇	四,五一〇	一五,五〇〇	八,三二〇	一三,〇〇〇	七〇〇	—	—	—
野洲川	—	—	一六,一〇〇	三二,〇〇〇	三六,一五〇	六五,〇〇〇	三三,五六〇	七九,〇〇〇	三,六〇〇	八,一〇〇
字曾川	二六,二四〇	一一五,一〇〇	三〇,九〇〇	九六,〇〇〇	一八,三五〇	六四,〇〇〇	二〇,〇〇〇	三六,〇〇〇	—	—
犬上川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
天野川	三,八四〇	九一,五〇〇	四,六二〇	一四三,〇〇〇	四三,八三〇	六三,〇〇〇	三九,二二〇	九一,五〇〇	一〇,七〇〇	二四,七〇〇
姉川	二〇,二五〇	三六,〇〇〇	三三,六二〇	一〇三,〇〇〇	五三,八一〇	一四,〇〇〇	一四八,二七〇	二〇,五〇〇	九,四三〇	三,〇〇〇
余呉川	—	—	四四,一九〇	九〇,〇〇〇	一八九五〇	七七,四〇〇	八〇,五〇	五,五〇〇	—	—
知内川	一三,六〇〇	四三,〇〇〇	五,三三〇	一四,〇〇〇	三八七,〇〇〇	八八,〇〇〇	一六,六五〇	五一,七〇〇	六,一〇〇	一四,九〇〇
石田川	一一,八〇〇	三〇,七〇〇	六三,五〇〇	一一〇,〇〇〇	二四,六〇〇	七〇,五〇〇	一一,〇〇〇	二六,二〇〇	—	—
安曇川	三五,四〇〇	九一,〇〇〇	—	—	一八,三〇〇	三八〇,〇〇〇	二五,三四〇	一九五,〇〇〇	一三,〇六〇	三,一〇〇〇
仁保川	三,五〇〇	一六,〇〇〇	二五〇〇	七,〇〇〇	六,三〇〇	一一,〇〇〇	二,九九〇	五,〇〇〇	—	—
合計	一五三,一五〇	四三九,四〇〇	二九一,三九〇	七二〇,五〇〇	四三三,二一〇	九六一,九〇〇	四〇五,七八〇	六九四,九〇〇	四二,九〇〇	八一七,〇〇

(二) 卵の孵化及ビ魚兒飼育

各採卵場ニ於テ採卵シタル卵ノ十月廿一日ヨリ十二月九日ニ至ル五十日間ニ亘リ之ヲ七期ニ區別シテ本場知内孵化場ニ收容セリ但シ其ノ中全ク收容シ能ハザリシ日十九日アリシヲ以テ收容日數ハ三十一日ナリ

採卵ヨリ發眼マデニ要セシ日數ノ最モ少キハ十三日ニシテ最モ多キハ二十五日ナリ採卵ヨリ孵化マデニ要セシ日數ノ最モ少キハ十三日ニシテ最モ多キハ二十五日ナリ採卵ヨリ孵化マデニ要セシ日數ノ最モ少キハ三十日ニシテ最モ多キハ五十七日ナリ何レモ早キハ初期採卵ノモノニシテ晚キハ終期採卵ノモノナルコト例年ニ同ジ

收容卵數ノ死卵數ニ對スル割合ハ運搬中二・二%發眼前一・一%發眼後ノ缺損大ナルハ其ノ以前ノ檢卵ヲ省畧セシモノ多カリシ爲ナリ此等ノ經過ヲ表示スレバ左ノ如シ

採卵數	收容期		第一期	第二期	第三期	第四期	第五期	第六期	第七期	全部
	終	始								
十月廿七日	十月廿七日	十月廿七日	十月廿七日	十一月一日	十一月六日	十一月十一日	十一月廿二日	十一月廿七日	十二月二日	十月廿二日
十月廿七日	十月廿七日	十一月五日	十一月五日	十一月十日	十一月十五日	十一月廿六日	十二月二日	十二月七日	十二月廿二日	十一月九日
十一月五日	十一月五日	十一月十日	十一月十日	十一月十五日	十一月廿六日	十二月二日	十二月七日	十二月廿二日	十二月廿七日	十一月九日
十一月九日	十一月九日	十一月十日	十一月十日	十一月十五日	十一月廿六日	十二月二日	十二月七日	十二月廿二日	十二月廿七日	十一月九日
十一月九日	十一月九日	十一月十日	十一月十日	十一月十五日	十一月廿六日	十二月二日	十二月七日	十二月廿二日	十二月廿七日	十一月九日
十一月廿五日	十一月廿五日	十一月廿六日	十一月廿六日	十一月廿七日	十一月廿八日	十一月廿九日	十二月一日	十二月二日	十二月三日	十一月九日
十二月五日	十二月五日	十二月六日	十二月六日	十二月七日	十二月八日	十二月九日	十二月十日	十二月十一日	十二月十二日	十一月九日
十二月九日	十二月九日	十二月十日	十二月十日	十二月十一日	十二月十二日	十二月十三日	十二月十四日	十二月十五日	十二月十六日	十一月九日
十二月九日	十二月九日	十二月十日	十二月十日	十二月十一日	十二月十二日	十二月十三日	十二月十四日	十二月十五日	十二月十六日	十一月九日
十二月九日	十二月九日	十二月十日	十二月十日	十二月十一日	十二月十二日	十二月十三日	十二月十四日	十二月十五日	十二月十六日	十一月九日

終始	發眼期	發眼日數	孵化期	孵化日數	運搬中	死卵數		發眼抽出數	孵化數	孵化率
						發眼前	發眼後			
十月廿二日	十月廿二日	七三	十一月廿八日	三〇	三四	一八八	一三三	一八五	一五二五	八九%
十一月廿四日	十一月廿四日	九三	十二月七日	三三	三五	二〇五	一四〇	一九九	一五八四	八九%
十二月廿二日	十二月廿二日	二四	十二月廿三日	三七	五四七	五四二	一八五三	二六五四	二二四四六	八九%
十二月廿六日	十二月廿六日	七三	十二月廿七日		七三五	三七三	二四九二	三六〇〇	三二〇〇〇	
十二月十五日	十二月十五日	一四	一月七日	四七	一一三	六三三	四四三九	六二〇三	五〇一九七	八九%
十二月廿二日	十二月廿二日	二四	一月廿五日	五四	一三五七	六六六	四五二七	六五五〇	五〇一五〇	八八%
二月二日	二月二日	二〇	二月廿四日	五三	三三二	一五一	九九三	一四六五	一一八三五	八九%
二月二日	二月二日	二五	二月廿四日	三〇	四七六八	二四七九	一七〇六九	二四三二六	一六四六八四	八九%

右表中搬出卵ハ小松魚場及民間ニ配布セルモノナリ仔魚ハ十一月二十日ヨリ翌年三月三十日マデノ間ニ於テ臍囊ヲ吸了シ一月十七日ヨリ麥粉蝦粉ノ混合餌料及ビ生蝦ヲ給與セリ臍囊吸了月日及ビ孵化期日ヨリ同期マデ要セシ日數等左ノ如シ

期別	臍囊吸了月日		孵化ヨリ上記マデノ日數		給餌始月日
	始	終	早キモノ	晚キモノ	
第一期	一月五日	一月廿五日	四六	四八	一月十七日
第二期	一月十三日	一月廿九日	四〇	四三	一月三十日
第三期	一月廿一日	二月七日	三九	四七	二月九日
第四期			三九	四七	
第五期	二月十五日	三月五日	三九	五〇	三月九日
第六期	三月三日	三月十日	四二	四四	三月十七日
第七期	三月三日	三月廿七日	四〇	五一	三月十七日
全部	一月五日	三月廿七日	三九	五一	一月十七日

浮游セル仔魚ハ茲ニ期別ノ隔壁ヲ撤シ發育ノ早キモノヨリ選別給餌スルコト四十二日乃至一百五日間ニシテ放流セリ其ノ投餌量月別左ノ如シ

月	旬	小麥粉	蝦粉	生蝦	計
一月	中	三一	二九	一六〇	三〇〇
二月	中	一九	一七	一六〇	三六〇
三月	中	三〇	二九	三二〇	六九九
四月	中	三六	三四	八〇	一八四九
五月	中	四〇	二二	一〇三	二七九一
合計		一七九	一〇六	一三三〇	三五〇七九

右ノ内五月中使用ニ係ル小麥粉三五匁蝦粉三一匁生蝦五・二六〇匁ハ特ニ餌料試験トシテ過量ニ投與セルモノナリ飼育期間中毎日一回觀測ニ係ル天氣風向風種雨量ノ旬別平均又ハ合計ハ左ノ如シ

月	旬	天氣日數		最多風向	風		種	降水量
		快晴	曇雨		靜和	疾強以上		
一月	上	一	三	北	六	一	一三四	
一月	中	一	二	北	七	一	七五二	
一月	下	一	二	北	七	一	五〇七	
合計		三	五	西	七	三	六五〇	

五	四	三	二	一	二	一	〇
上	下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	下
一五七	一三四 一四五	一四五 一七〇	一七〇 一八〇	一八〇 一九〇	一九〇 二〇〇	二〇〇 二一〇	二一〇 二二〇
一七五	一九五 二〇〇	二〇〇 二〇五	二〇五 二一〇	二一〇 二一五	二一五 二二〇	二二〇 二二五	二二五 二三〇
二	二九〇 二九三	二八九 二九二	二八八 二八五	二八七 二八四	二八六 二八三	二八五 二八二	二八四 二八一
一三八	一九八 一九〇	一九〇 一九〇	一九〇 一九〇	一九〇 一九〇	一九〇 一九〇	一九〇 一九〇	一九〇 一九〇
一〇	二四九 二四九	二七〇 二七〇	二八一 二八一	二九二 二九二	三〇三 三〇三	三一四 三一四	三二五 三二五
二二八	二二七 二二九	二二七 二二七	二二七 二二七	二二七 二二七	二二七 二二七	二二七 二二七	二二七 二二七
一四〇	一三三 一三五	一三一 一三一	一三一 一三一	一三一 一三一	一三一 一三一	一三一 一三一	一三一 一三一
八	二九〇 二九八	二八八 二八八	二八七 二八七	二八六 二八六	二八五 二八五	二八四 二八四	二八三 二八三
二二〇	九〇九 九〇〇	六〇六 六〇六	五三〇 五三〇	四六〇 四六〇	三九〇 三九〇	三二〇 三二〇	二五〇 二五〇
五四	二四九 二四九	二七二 二七二	二八〇 二八〇	二八三 二八三	二八六 二八六	二八九 二八九	三〇二 三〇二
一三二	二〇九 二〇九	九七六 九七六	七三六 七三六	五八八 五八八	四四〇 四四〇	二九二 二九二	一四四 一四四
一四〇	一四〇 一四〇	九九九 九九九	七八八 七八八	八七〇 八七〇	九〇〇 九〇〇	九三〇 九三〇	九六〇 九六〇
八	二九〇 二九〇	二八五 二八五	二七五 二七五	二六〇 二六〇	二四〇 二四〇	二二〇 二二〇	二〇〇 二〇〇
二二〇	一〇〇 一〇〇	六〇〇 六〇〇	六三〇 六三〇	六四〇 六四〇	六五〇 六五〇	六六〇 六六〇	六七〇 六七〇
〇	二四九 二四九	二七〇 二七〇	二八〇 二八〇	二八七 二八七	二九二 二九二	二九七 二九七	三〇二 三〇二

右ノ内十二月下旬ヨリ二月上旬ニ至ル期間降水量ハ積雪ヲ換算セルモノナリ尙飼育期間中ノ氣温水温ノ旬別平均ヲ示セバ左ノ如シ

月	旬	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低
五	四	三	二	一	二	一	〇	二	一	〇
上	下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	下中上	上	下中上	下中上
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	三六四	三四四	二二四	四三	四一五	五	二四三	五四三	三六五	五三五
五	二四三	五四三	三六五	五三五	三三四	一	五	三	二二一	一一一
北	北北北	北北北	北北北	北北北	北北北	北北北	北北北	北北北	北北北	北北西
西	西西東	西西西	西	東西	西西	西	西	西	西	西
五	四五七	三四三	四三四	八八四	八四六	二	三一	三三	三六二	一一
二	三一	三三	三六二	一一	三三四	二	二	二	二	二
一	一一	二二	一一	一一	一一	一	一一	一一	一一	一一
八六	八二	六〇	六〇	二八	九〇	二四	二八	九〇	二四	二八

(三) 苗魚ノ放流

本年度ノ放流苗魚ハ体長一寸二分ヨリ一寸九分ニ至リ体重〇匆一一ヨリ〇匆五一ニ至ルモノニシテ平均体長一寸五分体重〇匆三一ニ相當ス大正七年五月十七日東淺井郡竹生村大字早崎地先竹生島沿岸ニ放流セリ此ノ尾數一五六、〇〇〇尾ニシテ質量四八貫三六〇匆トス

三、鰻苗購入及放流事業 (第十年)

鰻苗供給地ハ前年度ニ同シク静岡、愛知、三重ノ各縣下ニ於テ漁獲ニ係ルモノヲ購入シ其ノ價格本場受渡シ百貫匆ニ付平均金百參拾九圓八拾壹錢弱ニシテ前年度ニ比シ金六拾圓貳拾九錢ノ高價ヲ示セルハ一般魚價ノ高騰ヲ來シタルニヨル

各供給地ヨリノ運搬及本場内蓄養ノ方法業從來ニ異ナルコトナク購入期間ハ八月二十一日ヨリ十月九日ニ至リ此ノ間供給高月別ニ表示スレバ左ノ如シ

八月	百六十貫七百匆	十六萬二千九百六十尾
九月	百四十一貫〇五十匆	十八萬九千八百七十尾
十月	百三十八貫七百匆	十八萬四千七百三十九尾
計	四百四十貫四百五十匆	五十三萬七千五百六十九尾

放流

一回ノ放流數最小六萬三千五百五十尾此ノ体量七十七貫九百匆最多十萬九千八百六十九尾此ノ体量八十二貫四百匆ニシテ八月二十一日ヨリ十月二十一日ニ至ル六回ニ總數五十三萬七千五百六十九尾ヲ琵琶湖沿岸各所へ放流セリ魚苗ノ大サ前年度ニ大差ナク体長四寸六分乃至八寸零分体量零匆七分乃至二匆二分ニシテ放流地點別左表ノ如シ

放流地點別	放流尾數	放流体量
湖南區	二九六、三〇九尾	二二九、九五〇匆
湖東區	六三、五五〇尾	七七、九〇〇匆
湖西區	一七七、七一〇尾	一三二、六〇〇匆
計	五三七、五六九尾	四四〇、四五〇匆

内譯

放流回数	放流月日	放流場所	放流尾數	放流魚平均体長	放流魚平均体量
第一回	大正六年八月廿一日	縣設第四禁漁區	六三、五五〇尾	六寸乃至八寸	一匆乃至二匆二分
第二回	八月廿五日	滋賀郡堅田沖	九四、〇〇〇尾	寸六分乃至七寸四分	〇匆七分乃至二匆二分

第三回	九月七日	滋賀郡堅田沖	八七〇三〇	五寸乃至七寸三分	〇夕七分乃至二夕
第四回	九月廿一日	伊香郡鹽津飯浦沖	一〇一八四〇	五寸	〇夕七分四厘
第五回	十月十日	第二禁漁區	一〇九八六九	五寸	〇夕七分五厘
第六回	十月廿一日	高島郡深溝沖	七四八七〇	四寸八分	〇夕七分五厘
計			五七五九九		

三〇

試 驗 部

一、鱒池中殖試験

(其ノ一) 一歳魚飼育成績

池 號	面積	水深	放養月日	收納月日	坪當放養數
第三池 號	一七四 ^坪	三〇—四 ^尺	四月二十日	六月三十日	一三九 ^尾
第二、四號池	三三六〇	三〇—四〇	七月一日	十一月七日	一九八
第一號池	一八八〇	八〇—三〇	十一月七日	五月十八日	一〇八

(二)飼育池ノ面積及ビ水深 本年度飼育池ノ面積其ノ他左ノ如シ

(二)供用餌料

餌料ハ蝦粉ニシテ其ノ投與量其ノ他左ノ如シ

收納月日	收納量	増重量	投餌量	成肉係數	飼育日數
六月三十日	五七四 ^斤	九〇 ^斤	一八六〇	二〇七	七一
十一月七日	六三九五	一・二六	三九九五〇	三五三	二九
五月十八日	一四八七	九二四	六〇八〇	六五	一九二

(三)成長度 成長ハ春夏期最モ良ク平均体重ニ於テ收納時ハ放養時ノ四倍ニ達シ秋冬期ハ三倍五ナリトス即チ左ノ如シ

春 期 (四月二十日ヨリ六月三十日マデ)		夏 期 (七月一日ヨリ十一月七日マデ)	
放養時	最大体長	放養時	最大体長
二五 ^寸	一・二 ^尺	二五 ^寸	一・二 ^尺
四三	六五	四三	六五
一七	五四	一七	五四
收納時	最大体重	收納時	最大体重
一・二 ^寸	一・二 ^尺	一・二 ^寸	一・二 ^尺
一九	〇四	一九	〇四
〇七	〇三	〇七	〇三
増加時	最小体長	増加時	最小体長
二五 ^寸	一・二 ^尺	二五 ^寸	一・二 ^尺
四三	六五	四三	六五
一七	五四	一七	五四
平均体長	平均体重	平均体長	平均体重
一・五 ^寸	〇二	一・五 ^寸	〇二
二八	〇八	二八	〇八
一三	〇六	一三	〇六

放養時		收納時		增加時		最大体長	最大体重	最小体長	最小体重	平均体長	平均体重
四寸	四寸	四寸	四寸	四寸	四寸	四寸	六五 ^分	一五 ^寸	〇四 ^分	二八 ^寸	〇八 ^分
四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	二二〇	二〇	〇五	三五	三二
〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	〇六	五五	〇一	〇一	〇七	二二
秋冬期 (十一月七日ヨリ五月十八日マデ)						最大体長	最大体重	最小体長	最小体重	平均体長	平均体重
四寸	四寸	四寸	四寸	四寸	四寸	四寸	二二〇 ^分	二〇 ^寸	〇五 ^分	三〇 ^寸	二八 ^分
七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	三三〇	三七	三〇	五〇	九八
四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	二二〇 ^分	二〇 ^寸	〇五 ^分	三〇 ^寸	二八 ^分
二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二〇〇	一七	二五	二〇	七〇

(四)減耗 本種ハ大正五年十月廿六日知内川ニ於テ採卵シ同年十一月廿四日發眼卵ヲ以テ小松養魚場孵卵室ニ收容セシセノナリ十一月廿五日孵化ヲ始メ十二月十日全タ終了セリ其ノ減耗等左ノ如シ

年	月	日	飼育日數	放養又 收納數	減耗數	減耗率	記	事
大正五年	十一月	廿四日	—	三〇,〇〇〇	—	—	發眼卵收容	

同	同	同	同	同	同	同	同	同
六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年	六年
四月二十日	六月三十日	七月一日	七月七日	十一月七日	十一月七日	五月十八日		
一四七	七二	—	—	—	—	—		
二四,二四〇	六,七四	六,五七四	二〇,六三	二,〇〇一	一,五二三	—		
五,七六〇	一七,四六	—	四,五二	—	四,八	—		
一九二 ^分	七二 ^分	—	六八六 ^分	—	二四四 ^分	—		
第三號池放養	第二、號池放養	—	第一號池放養	—	—	—		

(五)飼育池ノ水温及ビ水量水温觀測ハ毎日午前十時池ノ排水部ニ於テ之ヲ行ヒ十日毎ニ平均シタルモノ
左ノ如シ但シ水量ハ一分間ノ平均換水量トス

月	旬	水	温	水	量	月	旬	水	温	水	量
四	下	—	二二.五	—	一五.〇 ^分	八	中	—	一九.二	—	一五.〇 ^分
五	上	—	二二.七	—	一五.〇	九	上	—	一九.〇	—	一五.〇
五	中	—	二三.三	—	一五.〇	九	中	—	一九.二	—	一五.〇
五	下	—	二五.一	—	一五.〇	九	下	—	一八.八	—	一五.〇
六	上	—	二五.三	—	一五.〇	九	上	—	一八.七	—	一五.〇
六	下	—	二五.三	—	一五.〇	十	下	—	一八.七	—	一五.〇

最高	二	二	二	一	一	一	二	二	二	八	七	七	七	六	六
一八 日月	下	中	上	下	中	上	下	中	上	上	下	中	上	下	中
	三二	七三	七三	七二	七二	六八	六七	六九	七六	二〇二	二〇六	一九六	一八四	一七一	一六五
		一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇
最低	五	五	四	四	四	三	三	三	三	一	一	一	〇	〇	〇
十一 日月	中	上	下	中	上	下	中	上	下	中	上	下	中	上	上
	六四	一五三	一三七	八四	八五	八二	七六	七五	七三	七九	八六	二二二	一五三	一六五	一七一
		一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一八〇	一五〇	一五〇	一五〇

(其ノ二) 二歳魚飼育成績

(一) 飼育池ノ面積及ビ水深 本年度飼育池ノ面積其ノ他左ノ如シ

池 號	面 積	水 深	放 養 月 日	收 納 月 日	坪 當 放 養 數
第 一 號 池	一八八〇 ^坪	八〇—二二〇 ^尺	四月 一 日	九月 廿 一 日	六四〇 ^尾

(二) 供用餌料 餌料ハ乾燥小蝦ニシテ投餌量其ノ他左ノ如シ

收 納 月 日	收 納 量	増 重 量	投 餌 量	成 肉 係 數	飼 育 日 數
九月 廿 一 日	一三五〇〇 ^尾	四四九七 ^尾	五四三六〇 ^尾	二二二	一七三

(三) 成長度 平均体重ニ於テ收納時ハ放養時ノ二倍ニ相當ス即チ左ノ如シ

放 養 時	最大体長	最大体重	最小体長	最小体重	平均体長	平均体重
七寸	三〇.〇 ^尾	三.一	三.〇 ^尾	六.三	一五.八	七.五 ^尾
收 納 時	最大体長	最大体重	最小体長	最小体重	平均体長	平均体重
九寸	四五.〇	四.〇	四.〇	五.〇	六.三	一五.八

増	加	一七	一五〇	〇九	二〇	一〇	八三
---	---	----	-----	----	----	----	----

三六

(四)減耗 減耗ハ臨時一部ノモノヲ取揚グルノ際ニ起因スルコト多キガ如ク左ノ如シ

年	月	日	飼育日數	放養又ハ 收納數	減耗數	減耗率	記	事
大正六年	四月	一日	一	一二〇	!	!		放養
同	年九月	廿一日	一七	八五	三五	三〇		

(五)飼育池ノ水温及ビ水量 水温觀測ハ毎日午前十時排水部ニ於テ之ヲ行ヒ十日毎ニ平均シタルモノ左ノ如シ但シ水量ハ一分間ノ平均換水量トス

月	旬	水温	水量	月	旬	水温	水量
四	上	二一・八	一八〇	七	上	一九・九	一八〇
四	中	二二・五	一八〇	七	中	二二・四	一八〇
四	下	二三・一	一八〇	七	下	二三・八	一八〇
五	上	二三・六	一八〇	八	上	二三・九	一八〇
五	中	二四・四	一八〇	八	中	二三・一	一八〇

最高	六	六	六	五
八日	下	中	上	下
三三・五	一九・〇	一八・〇	一七・〇	一九・〇
!	一八・〇	一八・〇	一八・〇	一八・〇
最低	九	九	八	
十一月	中	上	下	
十一日				
六四	二〇・一	二二・四	二二・五	
!	一八・〇	一八・〇	一八・〇	

二、虹鱒池中養殖試驗

(其ノ一) 一歳魚飼育成績

(一)飼育池ノ面積及ビ水深 本年度飼育池ノ面積其ノ他左ノ如シ

池	號	面積	水深	放養月日	收納月日	坪當放養數
號	外	四・〇坪	三〇—三・五尺	六月十八日	三月廿九日	三・五九

(二)供用餌料 餌料ハ乾燥蝦粉ニシテ投餌量其ノ他ノ如シ

收納月日	收納量	増重量	投餌量	成肉係數	飼育日數
------	-----	-----	-----	------	------

三七

三月廿九日	九四 [※]	一七 [※]	五六〇	三九	二八 [※]
-------	-----------------	-----------------	-----	----	-----------------

(三)成長度 本種ノ成長度ハ最モ著シク平均体重ニ於テ收納時ハ放養時ノ七倍ニ達セリ即チ左ノ如シ

放養時	最大体長	最大体重	最小体長	最小体重	平均体長	平均体重
一九 ^寸		〇・四 ^々	一・〇 ^寸	〇・〇六 ^々	一・三 ^寸	〇・一 ^々
五 ^寸		一・〇	二・五	一・五〇	四・六	七・三
三 ^寸		一〇・六	一・五	一・四	三・三	七・二

(四)減耗 本種ハ大正六年五月廿七日發眼卵ヲ以テ群馬縣丸沼千明養魚場ヨリ本場ニ到着シ五月三十一日孵化ヲ終了シ六月十一日浮游シ始メ六月十八日飼育池ニ放養餌ヲ始メシモノニシテ爾後ノ減耗大ニシテ殊ニ七八月ノ交甚シ即左ノ如シ

年	月	日	飼育日數	放養又ハ 收養數	減耗數	減耗率	記	事
大正六年	五月	廿一日	—	九六四一	—	—	—	孵化終了

同	年	六月	十八日	一	七六八〇	一・九六一	二〇・八 ^々	
同	年	七月	十三日	二五	五六〇六	二・〇七四	三〇・九	
同	年	八月	廿四日	四三	五九〇	五・〇一六	八七七	
同	年	九月	廿五日	三三	四二〇	一・七〇	二八八	
同	年	十一月	廿一日	五	一六五	二・五五	六〇七	
同	年	三月	廿九日	二八	二四	四・五	二七四	

(五)飼育池ノ水温及ビ水量 水温觀測ハ毎日午前十時排水部ニ於テ之ヲ行ヒ十日毎ニ其ノ成績ヲ平均シタルモノ及ビ一分間平均換水量左ノ如シ

月	旬	水温	水量	月	旬	水温	水量
六	中	一五・〇 ^度	二六 ^々	八	上	一五・二 ^度	二六 ^々
六	下	一四・九	二六	八	中	一五・一	二六
七	上	一四・九	二六	九	下	一五・〇	二六
七	中	一五・〇	二六	九	上	一四・九	二六
七	下	一五・二	二六	九	中	一四・九	二六

最高	一二	一二	一二	一一	一一	一〇	一〇	一〇	九
廿七日	下	中	上	下	中	上	下	中	上
一月	二五〇	二三七	二四二	二四二	二四五	二三四	二四六	二五三	二五四
最低	一	三	三	三	二	二	二	一	一
八日	下	中	上	下	中	上	下	中	上
一月	二〇	四〇	四二	四二	四〇	三九	三八	五二	三七
坪當放養數	一	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六

(其ノ二) 二歳魚飼育成績

(一) 飼育池ノ面積及ビ水深 本年度中飼育池ノ面積其ノ他左ノ如シ

池號	面積	水深	放養月日	收納月日	坪當放養數
號外	三四〇	三〇—三五	六月廿一日	十月六日	二二
號外	三四〇	三〇—三五	十一月廿日	十一月十一日	一八

(二) 供用餌料 餌料ハ乾燥小蝦ニシテ投餌量其ノ他左ノ如シ

收納月日	收納量	増重量	投餌量	成肉係數	飼育日數
十月六日	二二四 _斤	一六〇 _斤	三七四 _斤	三二	一〇七
十一月十一日	二六三〇	六二六	一六四〇	二七	四二

(三) 成長度 本種ノ成長度ハ平均体重ノ上ヨリ夏期ニ於テ二倍一秋冬期ニ於テ一倍五ニ達セリ左ノ如シ

放養時	最大体長	最大体重	最小体長	最小体重	平均体長	平均体重
九寸	五〇 _寸	五〇 _斤	四六 _寸	五〇 _斤	五三 _寸	七五 _斤
春期	(六月廿一日ヨリ十月六日マデ)					

増	收	放	秋冬期 (十一月二十日ヨリ一月十一日マデ)			増	收
納	納	養	最大体長	最大体重	最小体長	納	納
加	時	時	最小体重	平均体長	平均体重	加	時
〇・四	一〇〇	九六	〇・八	二五・五	一〇・二	〇・六	九六
			二五	七五	六三		
			一・二	九五	一・〇		
			二五・五	三五〇	八三		
			〇・二	七八	一五・〇		

(四)減耗 本種ノ減耗ハ最モ少ク僅ニ三乃至一〇%ニ止レリ即チ左ノ如シ

年	月	日	飼育日數	放養又ハ 收納數	減耗數	減耗率	記	事
大正六年	六月	廿一日	一	三	一	三三%	放養	
同	年	十月	二〇七	七	二	二八%	放養	
同	年	十一月	四	五	七	一四〇%	放養	
同	年	十一月	二〇	七	一	一四%	放養	
同	年	十一月	二〇	七	一	一四%	放養	
同	年	十一月	二〇	七	一	一四%	放養	
同	年	十一月	二〇	七	一	一四%	放養	
同	年	十一月	二〇	七	一	一四%	放養	
同	年	十一月	二〇	七	一	一四%	放養	

(五)飼育池ノ水温及ビ水量 水温観測ハ毎日午前十時池ノ排水部ニ於テ之ヲ行ヒ十日毎ニ其ノ成績ヲ平均シタルモノ及ビ一分間平均換水量左ノ如シ

最高	一	九	九	九	八	八	八	七	七	七	六	月
廿七日	上	下	中	上	下	中	上	下	中	上	下	旬
一月	水											
一五七	一五四	一五二	一四九	一四九	一五〇	一五一	一五二	一五二	一五〇	一四九	一四九	温
												水
												量
												月
												旬
												水
												温
												水
												量

三、鱒兒生餌飼育試験

四四

鱒兒ノ体長一寸三分ヨリ二寸内外ニ至ルモノハ飼育中此ノ前後ノモノニ比シテ減耗頗ル大ナル所以ハ游泳活潑ニシテ巧ニ注排水口ノ間隙其ノ他ヨリ逸出シ去ルト又漸ク魚体大小ノ差ヲ生ジ來リ強大ノモノハ弱小ノモノヲ吞噬スルモノアルニ依ルベシト雖モ一ハ此ノ時期ニ於テ病的現象ヲ呈シテ斃死スルモノ頗ル多キニ依ラズンバアラズ此ノ病狀ニ就テハ從來傳染病說日射病說等アリシモ其ノ何レニモ未ダ救済ノ良法ヲ發見セザリキ固ヨリ治療ノ方法ハ病源ニヨリテ決セザルベカラズ病源ヲ明ニセンニハ魚病學上ノ研究ニ待タザルベカラザルヤ論ナキモ計ラズモ此ノ病魚ハ天然產ノモノニハ殆ンド之ヲ見ズシテ池養ノモノニ限ラレ而モ採餌後一箇月乃至三箇月ニ於テノミ現ハル、コトニ心ヅキ餌料ノ種類ニヨリテ影響スル所ナキヤノ疑問ニツキ從來使用シ來レル乾燥蝦粉ニ變フルニ生鮮ノ蝦ヲ以テシ魚兒斃死ノ狀体ヲ調査セル一小試験ニツキ茲ニ報告ス

【一】試験池 試験池ハ本場知内孵化場構内叩池長二間巾四尺深一尺二寸ノモノ四個ヲ使用シ内二個ハ生鮮餌料飼育ノ魚兒放養ニ用ヒ二個ハ對照トシテ乾燥餌料飼育ノ魚兒放養ニ用ヒタリ各池トモ換水量ハ殆ンド一定シ一分間一斗四升ノ平均トス

【二】供試魚兒 試験ニ用ヒタル魚兒ハ大正六年十一月一日ヨリ同月九日ニ至ルマデニ於テ採卵シタルモノニシテ同年十二月四日孵化ヲ始メ十二月二十二日孵化終了シタルモノ、内ヨリ之ヲ選ベリ此等ノ

魚兒ハ一月三十日ヨリ給餌シ三月四日マデハ從來使用シ來レル蝦粉ニ少量ノ小麦粉ヲ混ジ拳大ノ團子トシテ之ヲ蒸籠ニテ蒸シ乾カシテ後粉碎シテ篩ヒタルモノヲ與ヘ三月五日ヨリ兩分シ一ハ從來ノ餌料ヲ繼續シテ之ヲ乾燥餌料斜給與試験魚トシ他ノ一ハ生鮮ノ蝦ヲ摺鉢ニテ摺リ潰シテ之ニ與ヘ之ヲ生鮮餌料給與試験魚トシテ飼育スルコト何レモ一箇月ノ後始メテ本試験ニ着手セリ斯ノ如ク稍々煩雜ナル方法ニヨリタルハ浮出當時ヨリ生鮮餌料ヲ與ヘタル魚兒ヲ得難カリシニヨリ出來得ル限リ始メノ餌料ノ影響ヲ少ウセン爲ニ外ナラズ

【三】試験方法 試験ハ大正七年四月四日之ヲ始メ六月廿一日之ヲ終レリ供試魚ハ之ヲ四池ニ放養シ内ニ池ハ乾燥餌料ヲ與ヘ他ノ二池ハ生鮮料ヲ與ヘ以テ兩餌料ノ斃死魚數ニ對スル影響ヲ觀ントセリ而シテ各々甲乙ニ分チ投餌量ヲ一ヲ他ノモノ、倍量トセリ蓋シ其ノ量ヲ多クセルモノ或ハ其ノ影響ヲ大ナラシムルコトアラシク慮リテナリ

【四】斃死魚ノ徵候 斃死スル魚兒ノ最モ多ク呈スル徵候ハ獨リ群ヲ離レ頭部ヲ水面上ニ上ゲ池邊ヲ目ガケテ狂奔シ來ル其ノ奔ルヤ体側ヲ交互ニ波狀ニ曲グルコト深ク一見全力ヲ傾盡スルモノ、如ク一直線ニ進ミ又ハ「ヂツクザツク」狀ニ運動シ池邊ニ到着スルヤ又之ニ沿ウテ走り四隅其ノ他ノ隠所ニ達スル時ハ吻部ヲ壓シ付ク其ノ障壁ヲ排シテモ尙前方ニ進マントシ暫時ハ遮二無二ニ努力スルモノ、如ク見ユルモ暫ク狂奔運動ヲ停ムルモノモアリ又更ニ他ノ方面ニ向テ其ノ狂奔ヲ續クルモノモアリテカ、ル狀態

ヲ斷續的ニ反復スルコト數回ノ後疲勞漸ク加ハリ運動力大ニ鈍リ反轉又反轉螺旋狀ニ進ムニ及ンデ遂ニ池底ニ横臥シ漸次呼吸喘々ノ狀ヲ呈シ約一時間ノ後全ク死スルニ到ル死体ハ開口ノマ、ナルモノ多キヨリ窒息等ノタメナラザルヤノ疑ナキニアラザルモ酸素缺乏等ノ爲メ呈スル混醉狀態ト自ラ其ノ徵候ヲ異ニセルモノ、如シ

【五】取揚成績 飼育日數七十九日ニシテ四池ノ結果ヲ觀ルニ左ノ如シ

供試魚項目	甲 生 池		乙 餌 料 池		甲 乾 池		乙 餌 料 池	
	放養魚數	取揚魚大サ	放養魚數	取揚魚大サ	放養魚數	取揚魚大サ	放養魚數	取揚魚大サ
最大	一五二六	二九(二四)	一三八〇	三〇(二八)	九八六	一〇五四	三三(三六)	三五(三六)
最小	一五(〇四)	一七(〇五)	一七(〇五)	二〇(〇九)	二〇(〇九)	二二(〇九)	二二(〇九)	二二(〇九)
平均	二四(一二)	二五(一四)	二五(一四)	二五(一六)	二五(一六)	二六(一六)	二六(一六)	二六(一六)
投餌量	三五八〇	七三三〇	七三三〇	三二一	三二一	五九二	五九二	五九二
取揚魚數	一四二	一〇七	一〇七	五	五	五八	五八	五八
放養魚平均大サ	一〇(〇一)	一〇(〇一)	一〇(〇一)	一〇(〇一)	一〇(〇一)	一〇(〇一)	一〇(〇一)	一〇(〇一)
減耗數	四四	三七三	三七三	八三一	八三一	九九六	九九六	九九六
減耗率	二七三%	二七〇%	二七〇%	九四五%	九四五%	九四五%	九四五%	九四五%

此ノ結果ヲ見ルニ生鮮餌料ヲ以テ飼育セルモノハ乾燥餌料ヲ以テ飼育セルモノニ比シ成長度ニ於テ及バザルモ減耗ニ於テ遙カニ優良ナリ而シテ其ノ減耗ノ多數ハ前記死魚ナルヲ思ヘバ餌料ノ影響ノ必ズシセ少小ニアラザルヲ記セザルヲ得ズ然レドモ生鮮餌料ノ増重有効率ハ頗ル弱小ニシテ投餌法ヲ改良スルノ要アルト同時ニ未ダ以テ鱒兒飼育上良餌料トナスヲ得ザルベク又斃死病魚ノ生ズル徑路モ亦間接的ニシテ其ノ徵候ヨリ推スル時ハ或ハ寄生蟲病乃至傳染性ヲ帶ブル疾病ノ爲ナルヤ疑ナキ能ハズ未ダ病魚標本ノ魚病學的検査ヲ遂行セザルガ故ニ俄ニ之ヲ斷ズル能ハザルモ暫ク記シテ以テ後日ノ試驗ニ待ツ所アラントス左ニ飼育日誌ヲ添付ス

月 日	水 温	生 池		餌 料 池		甲 乾 池		乙 餌 料 池		備 考
		餌量	死魚	餌量	死魚	餌量	死魚	餌量	死魚	
四月四日	一〇.〇度	二	二尾	一	六尾	一	一六尾	一	一五尾	
五日	一〇.〇	二	五	四	七	六	一五七	一〇	一七六	
六日	一〇.五	二	五	四	六	六	八六	一〇	一〇三	
七日	一〇.七	二	一	四	一	六	一	一〇	一	
八日	一一.〇	二	五	四	七	六	九四	一〇	八六	
九日	九.〇	二	一四	四	九	六	七六	一〇	九六	

五月			累合											
三	二	一	計	計	三十日	廿九日	廿八日	廿七日	廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日
三八	三三八	三三〇			三三	一四〇	二二五	二六	二〇	三〇	二〇	二五	二〇	二六
三五	三五	三五	六八五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
五	六	七	二四四	一〇七	二	二	二	二四		八	二	二		六
六五	六五	六五	一三八五	六二五	六五	六五	六五	六五	六五	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇
七	九	六	二二八	一〇三	七	二	一六	二七		七	一〇	一七		八
四	四	四	二二	四〇	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
	一	二	九〇八	二八	二	一	一	一		一	二	六		一四
八	八	八	二二六	八〇	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
四九		一	九八三	三		一	二	三		二	三	八		三
增加														

累合										累合				
計	計	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	計	計	十日
		三三〇	三六	三六	三六	二四	二五	二〇	二二	二〇	二〇			九九
三六〇	二四〇	三〇	三〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
一三七	八四	七	三	八	三	二	三	二	二	二	七	五	五	三
七六〇	五〇	六〇	六〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	二四〇	二四〇	四〇
一一五	六五	三	五	六	五	四	六	六	一四	一一	五	五〇	五〇	一五
八二	四六	四	四	四	四	四	四	四	六	六	六	三六	三六	六
八八〇	二二	一四	四	三	一〇	二	二八	二四	二	三	三五	六六七	六六七	六八
一四六	八六	八	八	八	八	八	八	八	一〇	一〇	一〇	六〇	六〇	一〇
九五二	二四六	九	六	一八	九	二九	三	三	二六	四七	三七	七〇六	七〇六	八七
增加														
四八														

四、仔鰻飼育試験

「しらす」鰻飼育試験ハ從來各地ニ於テ行ハレシコトアリシモ其ノ成績ニ至リテハ諸説アリテ一定セズ偶々本場事業中鰻苗琵琶湖放流ノコトアリ苗魚ノ供給困難ナル場合又ハ價格著シク騰貴シタル時ニ於テ之ニ代ハルベキモノトシテ「しらす」鰻ヲ措キテ未ダ他ニ之レアルヲ聞カズ乃チ体長六寸体重一匁ノ鰻苗タラシムルニ要スル飼育期間及ビ同時期ニ達スルマデノ減耗數ヲ闡明スルヲ主眼トシテ本試験ヲ施行セリ

【一】飼育池 飼育試験池ハ合計三個ヲ使用セリ即チ面積四十坪ノ普通泥池ノ周圍ヲ緊密ナル板張りトシ池底下一尺ニ及ボシ幅一尺ノ「返り板」ヲ水平ニ打付ケ水深一尺泥深二寸乃至七寸トナシタルモノ一個ト周圍煉瓦積叩池ニ幅一尺ノ「返り板」ヲ斜ニ打付ケ其ノ間隙ヲ「モルタル」ヲ以テ塗り詰メタルモノ二個ト之レナリ叩池ノ内一個ハ面積四坪水深八寸泥深七寸乃至一尺ニシテ他ノ一個ハ面積二坪水深五寸泥深五寸ニシテ何レモ池ノ全面ヲ被フニ三分ノ網地ヲ以テシタリ

【二】仔鰻ノ供給 仔鰻ハ特ニ愛知縣水産試験場ノ厚意ニヨリ同縣幡豆郡吉田村附近ニ於テ捕獲セラレタルモノ、供給ヲ受ケ大正六年三月中前後三回ニ到着セリ其ノ運搬成績ハ左ノ如シ

	第一回	第二回	第三回	合計
到着日時	十一日午後二時半	十三日午後二時十分	十四日午後二時半	
發送日時	十日午後十一時	十三日午前八時十分	十四日午前十時	
荷造時氣温	六・〇	七・二	七・五	
荷造時水温	七・一	八・六	八・二	
到着時氣温	一〇・〇	一一・九	一一・五	
到着時水温	一〇・〇	一〇・九	一一・九	
總魚數(尾)	二,九三三	九,五〇〇	二〇,六一五	三三,〇〇八
魚重量(匁)	一三六	五二〇	九五〇	一,六〇六
荷造個數	一	一	二	四
荷箱數	二	五	一〇	一七
平均一箱收容數(尾)	一,四六一	一,九〇〇	二,〇六一	一,九四三
斃死魚數(尾)	二七	三三	一,三九五	一,六九九
斃死缺損率(%)	九三	〇・三	六七	五・一

右運搬ニ用ヒタル箱ハ長一尺四寸三分幅八寸ノ松材製ノモノニシテ底ハ木棉ヲ張リ之ニ幅一寸二分ノ棧ニ條ヲ架シ水浸セル水苔ト共ニ仔鰻ヲ混在セシメ凡テ氷ヲ用ヒズ其ノマ、二個乃至五個ヲ藁繩ヲ以テ縛リ一個トセリ

【三】仔鰻ノ放養 到着セル仔鰻ハ寒冷紗製活網ヲ叩池内ニ吊シ堀抜井水ヲ注加シテ畜養シ一方ニハ各池トモ石灰ヲ散布シ害蟲其他ヲ驅殺シテ後排水ツ更ニ堀抜井水ヲ注加シ鯉兒ヲ放チ藥劑ノ影響全クナキヲ認メテ後左ノ如ク放養セリ

事項	叩池	叩池	泥池
飼育池面積	二坪	四坪	四〇坪
水深	五寸	八寸	一〇寸
泥深	五寸	七―一〇寸	二―七寸
放養月日	大正六年四月二日	大正六年四月二日	大正六年四月十三日
放養尾數	四〇〇	八〇〇	一〇、三九六
放養體量	一六匁五	三三匁〇	四一四匁〇
放養平均體長	一寸九五	一寸九六	一寸九五
放養魚平均體重	〇匁〇四一	〇匁〇四一	〇匁〇四〇

坪當放養數

二〇〇

二〇〇

二六〇

【四】餌料 餌料ハ當初蝦粉小麥粉ヲ等分ニ混合シ一旦煮沸シタルモノヲ焙烙ニ垂シ與ヘ放養後十六日ニシテ初メテ餌料ヲ採リシコトヲ認メシモ尙ホ多ク殘セシヲ以テ五月十四日田螺肉ヲ摺リ潰シタルモノニ變ヘ漸次攝取良好ノ狀況ヲ呈スルニ至レリ其ノ後七月九日ニ至リ田螺缺乏ノ爲メ蝦粉小麥粉ノ混合餌料ニ復セシモ尙能ク攝取シ前日ニ與ヘシモノハ翌朝マデ全ク之ヲ食ヒ盡スヲ見タリ其投餌總量左ノ如シ

月	別	叩池(大)	叩池(小)	泥池	合計
四月中	螺餌	五匁	二匁	八匁	一六匁
五月中	螺餌	九匁	四匁	一三匁	二六匁
六月中	螺餌	一〇匁	五匁	一五匁	三〇匁
七月中	螺餌	二五匁	七匁	三二匁	六四匁
八月中	螺餌	三〇匁	八匁	三八匁	七六匁

合計	十一月中	十月中	九月中
田混	田混	田混	田混
螺餌	螺餌	螺餌	螺餌
二四四 五〇	一三〇	五九〇	一〇〇〇
二五七 五	一五〇	七〇〇	一五〇〇
四七三 二七五	一〇〇	一〇四五	一三三五
七三九 三五六	三四五	一七〇五	二四四五

五八

【五】取揚成績 叩池ハ大正六年十二月五日六日兩日泥池ハ大正六年十二月十四日大正七年五月六日兩日之ヲ取揚ゲタル成績左ノ如シ

事	項	叩池(大)	叩池(小)	泥池
取揚	月日	大正六年十二月六日	大正六年十二月五日	大正六年十二月十四日
取揚	尾數	一八八	五五	五、〇七八
最大	體長	四寸四七	二寸九〇	六寸四〇
最大	體重	〇匆五〇	〇匆	三匆〇〇

平均	平均	平均	平均	平均	平均
體長	體重	體長	體重	體長	體重
三寸〇〇	〇匆二一	二寸〇〇	〇匆一一	二寸一七	〇匆〇八
〇匆二一	〇匆一〇	二寸〇〇	〇匆一〇	〇匆〇八	二寸二五
〇匆一一	六二二	〇匆一一	〇匆一〇	〇匆一〇	〇匆〇八
〇匆一一	七一五	〇匆一一	〇匆一〇	〇匆一〇	〇匆〇八
〇匆一一	七割五步	〇匆一一	〇匆一〇	〇匆一〇	〇匆〇八
〇匆一一	二割五步	〇匆一一	〇匆一〇	〇匆一〇	〇匆〇八

【六】飼育池ノ水温 毎日午前十時觀測シタル池水温ノ十日毎ノ平均左ノ如シ

月	旬	叩池水温	泥池水温	月	旬	叩池水温	泥池水温
四	下	一四〇	一五二	八	下	二四九	二四五
五	上	一四五	一五五	九	上	二五三	二五〇
五	中	一六六	一八二	九	中	二三四	二四六
五	下	一九七	二〇七	九	下	二三一	二三九
六	上	一九七	二〇一	一〇	上	一九三	一八七

五九

八	八	七	七	七	六	六
中	上	下	中	上	下	中
二七二	二七九	二九三	二八一	二六三	二三九	二二六
二六八	二六二	二九九	二六六	二六六	二四七	二二四
	一一二	一一一	一一一	一一一	一〇〇	一〇〇
	上	下	中	上	下	中
		八五	八三	一一三	一五六	一八六
		七七	九四	九五	二二二	一五四
						一八八

六〇

五、公魚移殖試験

本年度施行ノ公魚移殖試験ハ卵種ヲ總テ島根縣宍道湖ニ採リ大正七年二月十九日ヨリ三月五日ニ至ル十五日間ニ採卵シ總卵數二〇、〇〇〇、〇〇〇粒ヲ二月廿日ヨリ三月九日ニ至ル九回ニ運搬移殖シ本場内第二號池ニ設備シタル孵化槽ニ收容飼育シ發眼後更ニ三月十三日ヨリ同月二十四日迄テ四回ニ左記放流スベキ地點ニ搬出シ孵化設備ヲ茲ニ移轉シテ孵化シタル魚兒ハ自然ニ孵化槽底ノ金網目ヲ通過シテ放流セラル、ノ方法ニヨリタリ發眼ハ三月二日乃至三月十三日ニ始メ孵化ノ早キモノハ三月十六日ヨリ始メ晚キモノハ四月十五日ニ終了セリ孵化成績前年度ニ比シ良好ニシテ孵化率平均五〇・八%ニ相當シ此ノ

孵化魚兒數凡ソ一千〇十六萬尾トス試験ノ概要及ビ放流地點別左ノ如シ
採卵及移殖

運搬回数	採卵日時	採卵親魚數 雌 雄	採卵數	發送	到着日時	始發眼
一回	至自 二月十九日	雌 三〇一 雄 七二二	一九一〇、〇〇〇	二月廿日午後七時	廿一日午後七時	三月二日
二回	至自 二月二十日	雌 二二五 雄 六〇三	一、一〇〇、〇〇〇	二月廿三日午後七時	廿四日午後五時	三月四日
三回	至自 二月廿三日	雌 二二五 雄 六九〇	一、三〇〇、〇〇〇	二月廿五日午後七時	廿六日午後五時	三月七日
四回	至自 二月廿六日	雌 三六八 雄 一、一五〇	二、四〇〇、〇〇〇	二月廿六日午後七時	廿七日午後六時	三月九日
五回	至自 二月廿七日	雌 二二五 雄 六三〇	一、一〇〇、〇〇〇	二月廿七日午後七時	廿八日午後六時	三月九日
六回	至自 二月廿七日	雌 二二五 雄 六五〇	一、一〇〇、〇〇〇	二月廿七日午後七時	三月一日午後五時	三月十日
七回	至自 三月二日	雌 一、〇一七 雄 二、四五一	四、八〇〇、〇〇〇	三月三日午後七時	四日午後五時	三月十二日
八回	至自 三月三日	雌 九五一 雄 二、八〇二	四、八〇〇、〇〇〇	三月五日午後七時	六日午後三時	三月十三日
九回	至自 三月五日	雌 二二九 雄 六九三	一、一六〇、〇〇〇	三月八日午後七時	九日午後五時	三月十三日
計	至自 三月十九日	雌 三、七三三 雄 一〇、四八一	二〇、〇〇〇、〇〇〇	至自 三月二十日	三月廿一日	

孵化及放流

放流場所	本場搬出日時	移植卵分配數	孵化及放流日時	孵化及放流尾數
蒲生郡岡山村南津田地先	三月十三日	九六〇,〇〇〇 ^尾	至自 三月十六日 至自 四月三日	五七〇,〇〇〇 ^尾
犬上郡北青柳村大藪地先	三月廿三日	四八〇,〇〇〇	至自 三月廿五日 至自 四月十一日	一九〇,〇〇〇
坂田郡入江村天野川	三月廿四日	四四〇,〇〇〇	至自 三月廿六日 至自 四月九日	一七〇,〇〇〇
伊香郡余吳村余吳湖	三月廿一日	一,一〇〇,〇〇〇	至自 三月廿八日 至自 四月十五日	七〇〇,〇〇〇
計		二,〇〇〇,〇〇〇	至自 三月十六日 至自 四月十五日	一,〇一〇,〇〇〇

六、温水性魚族養殖ニ關スル試驗

(イ) 鯉及鮒兒ノ越冬試驗

魚兒ノ体形及放養數量ノ相異ニヨリ越冬中生ズル減耗ノ狀況ヲ試驗センガ爲メ本年度ニ於テハ鯉兒平均体長一寸五分及ビ二寸五分、四寸鯉兒ハ二寸三寸、五寸ノ各三種ニ區分シテ九月五日試驗ヲ始メ翌年四月十八日取揚グ調査ヲ行ヒタル成績左表ノ如クニシテ試驗中餌料ヲ給與セザルト冬期間稀有ノ降雪ニテ十二月十六日以後二月廿二日迄デ堪ヘズ池中ニ積雪凍水ヲ見爲メニ魚兒ノ減耗ヲ一層大ナラシメタリ試驗池ハ各地面積四十坪水深五寸乃至一尺ヲ保タシメ池中水藻殺生等自然ニ委シタリ結果鯉兒体長四寸ノモ

ノハ一割九分二寸五分ノモノニ割四分弱体長一寸五分ノモノ四割七分ノ減耗ヲ來セリ同シク体長一寸五分ニシテ一坪ニ對スル放養數平均七十尾ニ對シテハ八割六分強ノ減耗ヲ生セリ鮒兒ニアリテハ体長三寸ノモノ一割六分強二寸ノモノニ割八分ヲ坪當リ五十三尾放養シタルモノニ對シテハ六割八分強ノ減耗ヲ生セリ体長五寸ノモノヲ放養シタル試驗地ハ注排水口ノ設備不完全ナリシ爲メ他魚ノ浸入及試料魚ノ逸出シタル形跡ナルヲ以テ確實ナル成績ヲ見ル能ハザリシガ試驗ノ概要下ノ如シ

鯉兒ノ部

池別	面積	放養		取揚
		總數	平均体形	
一區	四〇坪	九月五日 四〇〇尾	三、五八〇 ^尾 一〇尾 八九 ^尾 五分 四寸(九 ^尾 分)	二月十四日 三二三尾
二區	四〇坪	九月五日 四〇〇尾	七二〇 ^尾 一〇尾 一八 ^尾 分 二寸五分(一八 ^尾 分)	四月十八日 三〇五尾
三區	四〇坪	九月五日 四〇〇尾	一四〇 ^尾 一〇尾 三 ^尾 五分 一寸五分(〇三 ^尾 分)	四月十八日 二一二尾
四區	四〇坪	九月五日 二、七七 ^尾 一尾	九七〇 ^尾 六九 ^尾 二四 ^尾 三分 一寸五分(〇三 ^尾 分)	四月十五日 二〇四尾
五區	四〇坪	九月五日 二、八五 ^尾 七尾	一、〇〇〇 ^尾 七一 ^尾 二五 ^尾 分 一寸五分(〇三 ^尾 分)	四月十五日 四五三尾

池別	面積	減耗		平均	
		尾數	體量	尾數	體量
六區	四〇坪	二、七〇〇	八八	七、七尾	八〇
		八八	八八	七、七尾	八〇
		八八	八八	七、七尾	八〇
七區	四〇坪	五七〇	九分	九、五尾	二〇
		一、五〇	〇	八、八尾	四七
		〇	〇	八、八尾	四七
八區	四〇坪	一七〇	八分	二、五尾	二六
		〇	〇	二、五尾	二六
		〇	〇	二、五尾	二六
九區	四〇坪	二六〇	六分	二、三尾	八〇
		〇	〇	二、三尾	八〇
		〇	〇	二、三尾	八〇

鮒兒ノ部

池別	面積	放養		取揚	
		總數	平均	總數	平均
六區	四〇坪	六五〇	一尾	五三	一尾
		一、六	三	二〇〇	〇
		五	三	二〇〇	〇
七區	四〇坪	六〇〇	五尾	一六	七尾
		一、五	〇	一六	七尾
		二	三	一六	七尾
八區	四〇坪	一五〇	五尾	一四	四尾
		三	七	一四	四尾
		二	〇	一四	四尾
九區	四〇坪	一、七	四	一、七	四
		四	三	一、七	四
		二	〇	一、七	四

減耗	尾數	體量
四二尾	七	〇
四五〇	〇	〇
三三尾	二	五
七〇	〇	〇
五六尾	二	八
增加	〇	〇
一、四	五	七
一、一	五	〇

取揚魚ハ本場内水溜ニ蓄養ス
試驗中飼養水温(午前十時觀測)

月次	大正六年		大正七年	
	平均	最高	平均	最高
九月	二五〇	二九〇	二〇二	二〇二
十月	一八四	二三〇	二二六	二二六
十一月	九八	一五六	五六	五六
十二月	四四	九六	〇・一	〇・一
一月	四	三	三	三
二月	三	二	二	二
三月	三	二	二	二
四月	四	三	三	三

(口) 鮒採卵及飼育試驗

供試親鮒ハ本場養成ノ似五郎種トス雌七十三尾雄二十尾總量五貫〇五十匁ヲ四月十六日面積四十坪ノ試驗ニ移シ自然産卵ヲ行ハシメタルニ充分ニ産卵動作ヲ認メザリシガ四月十九日ニ至リ投入シタル魚巢及池中ノ水藻ニ産付シタル卵粒約六萬三千二百粒ヲ得タリ之ノ採卵シタル卵粒ヲ三様ニ區分シ内二萬二千

五百粒ハ孵化池ニ收容孵化セシメ孵化後三日ヲ經テ第一區飼養池ニ放養シ他ノ二萬二千五百粒ハ看卵魚巢ノ儘第二區飼養池ニ投入シ殘卵一萬八千二百粒ハ產付シタル親魚池第三區ニ親魚ト混入シ自然ニ委シタリ飼育中餌料ハ小麦粉及乾蠶蛹粉ヲ給與シ十月中旬ニ取揚ヲ調査シタル成績左表ニ示ス如クニシテ卵粒ニ對スル魚兒ノ生産尾數ノ歩止リ第三區ノ一六・七%ヲ良好ナルモノトシ之レニ次ク第一區ノ七・一%第二區ノ二・一%トス

試驗經過及取揚成績

池別	第三區(四〇坪水深五寸乃至一尺二寸)	第二區(同上)	第一區(同上)
飼養法	親魚池ニテ孵化飼育セシモノ	飼養池ニテ孵化飼育セシモノ	孵化池ニテ孵化後放養セシモノ
卵數	約 一八、二〇〇粒	二二、五〇〇粒	二二、五〇〇粒
孵化數	孵化兒ヲ其ノ儘飼育ス	二二、五〇〇粒	一〇、六九七尾
孵化率	—	—	四七・五%
放養魚兒數	—	—	一〇、六九七尾
混養魚	親魚九三尾五貫〇五十匁親魚ノ分ヲ含ム	ナシ	ナシ
投餌日數	自四月至九月 一〇四	自七月至九月 六六	自七月至九月 六六

投餌量	乾蠶蛹粉	小麦粉	同上
取揚魚兒數	二、五二〇匁 一、九九五匁	一、二二〇匁 三、四五五匁	同上
同上体量	三、〇三二尾 一、八二〇匁	四八〇尾 一、三〇〇匁	同上
卵數ニ對スル歩止リ	一六・七%	二・一強	七、一弱

取揚ノ体形

第一區試驗地(十月十八日調査)

兒 最大 体長 三寸八分 体高 一寸一分
 中 同 二寸九分 同 八分
 最小 同 一寸五分五厘 同 四分
 總平均 一匁二分六

第二區試驗地(十月十五日調査)

鮎兒 最大 体長 三寸二分 体高 八分五厘
 中 同 二寸七分 同 七分五厘
 最小 同 一寸五分 同 四分
 總平均 二匁七分

第三區試驗地(十月十五日調査)

親 鮒	最大	八寸三分	体長	二寸	總平均 二十七又八
	中	六寸六分	同	一寸七分	
	最小	三寸八分	同	一寸	
鮒 兒	最大	三寸	体長	八分五厘	總平均 〇又六分
	中	一寸九分	同	五分五厘	
	最小	一寸一分	同	三分	

取揚魚ハ斃死魚ヲ除キ越冬試驗魚ニ供用ス

(ハ) 鱈産卵孵化試驗

産卵池ニ飼育スル親鱈ハ本年新タニ購入シタル琵琶湖産鱈ヲ加ヘ六月ニ於ケル現在數左ノ如シ

雌	二五頭	体量	三八〇又乃至一、三七〇又
雄	一二頭	同	四〇〇又乃至 九二〇又

本年度親鱈ノ給餌ハ四月十日ニ始メ十月十一日ニ終ル此ノ間八十四回ニ田螺四十三貫四百又乾燥蠶蛹十六貫九百十又ヲ給與セリ

産卵ハ六月八日ニ始メ七月二十九日ニ終リタリ産卵箇所四十四箇所産卵總數八百十一顆ニシテ一箇所平均十八顆強産卵ノ割合ナリ

孵化ハ八月十三日ニ始メ九月二十九日ニ終リ孵化數六百〇五頭ニシテ孵化率七四・六%ニ相當ス

死卵數一箇所ニ付最多二十二顆最少ナキモノ一顆ニシテ全卵孵化シタルモノ三箇所ニ不過孵化シタル鱈兒ハ孵化後即池ニ收容シ十月一日現在四百十四頭ノ内ヨリ鱈兒實費配付要項ニヨリ當業者ニ配付セルモノ三百頭ニシテ十月三十一日殘數七十七頭ヲ飼養池第三十六號地ニ放養飼育セリ

七、支那産烏介移殖試驗

同試驗ハ農商務省水産講習所ノ委託試驗トシテ支那直隸省産(天津運河)溝介 *Quadrula pagini* Heude.ヲ琵琶湖ニ移殖ノ目的ヲ以テ施行シタルモノニシテ試驗經過ノ概要左ノ如シ

運搬ノ時期 大正六年五月十五日發送同年同月二十四日午後十時半

運搬ノ方法 木製石油空箱二個ニ水潤セル糶殻ト介ヲ密ニ填充シ糶殻ハ其ノ量介ノ約三分一ヲ使用シ箱ハ釘付ケトシ外部ヲ蕙包トセズ單ニ麻綱ヲ以テ括ル、産地直隸省天津ヨリ大阪マデ氣船積トシ大阪ヨリ汽車積トシテ本場へ搬入ス

開箱時 ハ發荷後九日目ニシテ内部ノ糶殻ハ濕潤シ且ツ手ニ暖氣ヲ感シ惡臭ヲ放テリ

到着成績 運搬中斃死セルモノ多ク其ノ數二千七百九十二個及空殼數(内ニ泥土ヲ填充ノモノ)五十三個ヲ除キ生存セルモノ百三十個ニシテ尙休養中斃死十四個ヲ除キ之レヲ一時池中ニ放養シ發育狀況ヲ見テ更ニ湖中ノ適所ヲ撰ビ移殖スルコト、シ凡場内第六號親鯉飼養池ニ放養セリ

放養 放養池ノ面積九十五坪水深一尺五寸底質砂泥ニシテ深サ五寸乃至一尺ノ處ニ放養セリ該池ハ親
 鯉ヲ飼養シ其ノ數平均体量四百匁ノモノ二百八十五尾其ノ他ノ棲息魚介トシテハわたか、はえ、むつ、
 ノ雜魚及ビいけてふがひノ若干トス

放養日時 大正六年五月三十日

放養個數 一百十六個

放養時ノ体形 左表ノ如シ

平均形	六匁三五	體重	殼長	殼高	殼厚
最大形	一六匁五〇	殼長	一吋八一	一吋六一	〇寸六八
最小形	一匁八〇	殼長	二吋五二	一吋六〇	〇寸九〇
		殼高	〇寸八六	〇寸八六	〇寸四八
		殼厚			
		總重量	七三七匁		

體重	殼長	殼高	殼厚	體重	殼長	殼高	殼厚	體重	殼長	殼高	殼厚
一六〇 ^匁	二四二 ^分	一四三 ^分	九 ^分	一一〇 ^匁	二三〇 ^分	一三七 ^分	七八 ^分	七五 ^匁	一九五 ^分	一二五 ^分	七二 ^分
一五五	二四三	一五二	八五	二二八	二三〇	一三九	七六	九五	二二〇	一三三	七二
一〇五	二三五	一三二	七四	九七	二二九	一四〇	七五	六〇	一八五	一一〇	七〇
一一〇	二三二	一二三	八二	五八	一八二	一一三	七〇	六〇	一八八	一一五	七〇

八〇	二一〇	二二二	七〇	五〇	一七〇	一〇三	六八	五五	一七五	一一〇	七〇
一〇〇	二三〇	一三七	七七	四〇	一五五	九五	六五	九〇	二〇五	一一五	七九
七二	一九五	一一八	七一	九〇	二〇五	二二五	七九	五〇	一七五	一〇六	六四
九〇	二二〇	二二九	七三	九三	二三六	二二八	七三	八〇	二〇〇	一一九	七五
一六五	二五二	一六〇	九〇	一〇〇	二二五	一三〇	八〇	一四五	二四一	一四〇	八三
八二	二〇六	二一九	七五	八〇	二〇二	二二〇	七五	一四〇	二二八	二四二	九二
八二	二〇二	二二四	七一	八五	二二〇	二二三	七五	五〇	一七一	一一〇	六六
五五	一八〇	二一六	六六	七〇	一九五	二二五	七〇	二五	一三七	九〇	五七
五五	一七五	二一〇	六九	五〇	一七五	一〇六	六四	二〇	一三五	八二	五六
四五	一七四	二一〇	五九	三五	一五七	一〇六	六五	五五	一八〇	一一二	六六
五〇	一七二	二一〇	六五	三三	一五九	一〇〇	六五	五〇	一七〇	一〇六	七〇
五〇	一七五	二一〇	六九	二五	一四〇	九〇	六一	八〇	一九七	一一〇	七五
四八	一七〇	二〇〇	六五	九五	二〇五	八八	七五	一一八	二三五	一三〇	八二
三五	一六一	一〇〇	六二	六〇	一九〇	一一九	六八	七〇	一九三	一二〇	七五
二八	一四七	八九	六一	五八	一八〇	一一〇	六五	四九	一七〇	一〇五	七〇

100	140	110	150	150	220	65	98	100	65	25	30	53	42	21
238	230	230	240	238	238	192	235	222	182	135	150	171	165	135
132	138	141	139	152	133	115	130	130	220	85	94	108	102	85
72	85	80	85	80	82	70	77	75	70	61	57	67	70	60
44	30	40	40	48	40	32	45	70	60	32	30	30	37	42
150	145	153	162	160	164	155	170	198	190	151	145	152	155	160
92	92	100	97	100	102	98	105	122	110	90	92	95	92	100
65	58	60	68	67	67	57	68	68	70	58	58	60	68	65
25	22	31	25	42	38	32	48	25	32	82	70	90	65	55
145	146	145	150	155	155	150	170	140	145	215	206	205	175	182
90	92	88	93	100	96	92	105	85	90	132	122	132	128	122
54	52	60	59	70	63	59	62	55	60	72	70	72	68	66

20	69	70	90
141	195	195	210
85	114	116	122
53	72	70	71
18	22	22	40
133	140	152	160
86	90	90	99
48	53	58	63
19	20	28	26
130	133	142	140
86	80	91	90
52	55	58	54

取揚成績及移殖

放養後經過八ヶ月ニテ大正七年七月三十一日取揚調査シタル成績左表ノ如ク同年八月一日愛知郡石寺内湖(面積約六十町五反六畝歩)へ移殖セリ移殖場所ハ本場湖魚蕃殖試験地ニ近接シタル水深八尺底質砂泥ノ處ナリ

取揚時ノ体形(大正七年七月三十一日調、内湖放養當時)

平均体形	体重	八匁六	殻長	一寸九〇	殻高	一寸一八	殻厚	〇寸七一
最大体形	同	一八匁〇	同	二寸六〇	同	一寸六〇	同	〇寸九〇
最小体形	同	四匁〇	同	一寸四〇	同	一寸〇〇	同	〇寸六〇

總數四十九個 總重量四百十九匁五分

	体重	殻長	殻高	殻厚	体重	殻長	殻高	殻厚	体重	殻長	殻高	殻厚
一五・〇	二四・〇	一四・〇	八・五	二・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	八・〇	二〇・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
一八・〇	二三・〇	一四・五	九・〇	二・〇	二二・〇	二三・〇	八・〇	八・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
二〇・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・五	七・五	一九・五	二〇・〇	二二・〇	七・〇
二二・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
二四・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
二六・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
二八・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
三〇・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
三二・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
三三・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
三四・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
三五・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
三六・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
三七・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
三八・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
三九・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
四〇・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
四一・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
四二・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
四三・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
四四・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
四五・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
四六・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
四七・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
四八・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
四九・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇
五〇・〇	二三・〇	一四・〇	八・〇	一・〇	二二・〇	二三・〇	七・〇	七・〇	一九・〇	二〇・〇	二二・〇	七・〇

八、瀬田川下り 鰻捕獲試験

前年度同様漁具ヲ近江水産組合ニ貸與シ組合分袋網ト共ニ二統ヲ用キ委託試験ヲ施行セリ（組合ハ瀬田 蛸合資會社ニ託シ會社ハ社員中希望者ヲ一組五人ヅ、トシ抽籤ニ依リ漁業者ヲ定メ該試験ヲ施行セリ）

(一) 試験經過

(1) 漁具 凡テ前年度ニ異ラズ

(2) 漁法 同右

(3) 漁場 瀬田川唐橋上流六十間ノ位置ニ二統並行敷設ス（降雨出水ノ爲メ水流急トナリ使網ニ堪 エザルニ到リタレバ十月十六日以後川幅廣ク水流緩ナル鐵橋下零町ノ地點ニ移轉スルノ 己ム無キニ到レリ）

(4) 漁期 九月十八日ヨリ十一月十二日迄五十六日間内休漁日數五日延使網回数九十三回
(5) 漁獲高 五三九六尾、三五四貫七一〇匁、九二三圓三五錢

本年度ニ於テハ九月ニ入りテ氣温急ニ下降シ加フルニ降雨出水相次ギ漁期末ニ到ル迄恰モ霖雨期ノ如キ
觀アリ網ハ第三年度ノモノニシテ屢破損シタルト増水ノ結果網丈ク不足ヲ生ジ浮子繩ノ沈降スルコト甚
シカリシガ如キ不滿ノ點モアリシガ降雨出水ノ爲メ成熟セル鰻ノ降河多ク下リ鰻ノ漁獲ニ尤モ適當セル
年ニシテ且ツ増水セルモ洗堰ヲ開カズ流量ヲ多カラシメザリシカバ水流甚シク急ナラズ使網ニ堪エ該漁
業ニ對スル最好況ノ年ナリキ

漁獲物大サハ前年度報告セルモノト大差無モ稍大ニシテ平均六五匁七強ナリ

(二) 試驗結果ニ就テ

昨年度ニ比スルニ三、一一五尾、二二五貫一二〇匁、六百〇九圓拾錢ノ増獲ニシテ既往ニ返リ該漁業ニ
用セシ購入物品代價ニ因キ該漁業經營ノ收支計算ヲ舉グレバ左ノ如シ

(1) 收支計算(調製當時ノ價格)

(イ) 新調費

網	一統分	本場分袋網	一四八圓四四二
同 附屬品	一統分	組合分袋網	一九〇圓〇〇〇
		二統分ニテ	八六圓〇五四

計(兩網合計)

組合分袋網ハ稍大形ナルニ仍ル

四二四圓四九六

(ロ) 一ケ年ニ要スル費用

(1) 漁具(但シ大正四五年ノ價格ナリトス)

品名	新調ニ要スル費用	一ケ年ニ割當テタル經費
毎年取替ヲ要スルモノ		
沈子繩	一、〇七五	一、〇七五
二年目毎ニ取替ヲ要スルモノ	四五・〇九三	二二・五四七
三年目毎ニ取替ヲ要スルモノ	三八・一六三	一二・七二一
四年目毎ニ取替ヲ要スルモノ	一四・四九一	三・六二三
其他修繕及補足費		一二・五〇〇
網仕立人夫賃(一人六拾錢八人)		四・八〇〇
計	一統分	五七・二六六
	二統分	一一四・五三二

(II) 人夫賃

投網及翌朝揚網乾燥(一人一回參拾五錢四)	八一・二〇〇
夜間揚網捕魚(一人一夜拾五錢每夜)	一七・四〇〇
同 臨時人夫(一人一夜拾五錢)	六・〇〇〇
同 臨時人夫(延四十人)	七・七

網地修繕人夫賃(一人一日參拾五錢)

計(但シ右ハ漁業ニ用スル人数ヲ
皆テ使用人夫トシテ見積レリ)

故ニ漁具ニ統ヲ使用スルニ要スル一ケ年ノ經費總計

右ノ他ニ要スル費用ハ漁期中ノ漁具修繕費等約四五拾圓ナリトス

但シ右ハ漁具製作當時ノ價格ニシテ近者諸材料騰貴セルガ故ニ一ケ年割宛テ費用約三百圓内外ヲ要ス可シ之レヲ漁獲高ニ對比スレバ本年度ノ如キハ約六百圓ノ純收入ヲ二ケ月間ニ得タルモノニ相當ス

然レドモ本年度ノ如キハ最好況ナリシガ故ニ能ク如上ノ好成績ヲ舉ゲ得タルナル可キモ最不漁年ニ於テモ二統ヲ使用セバ五百圓内外ノ漁獲ヲ舉ゲ得可キコト確實ナル見込ヲ得タレバ試験當初ノ目的ヲ達シ得タルモノト信ジ該漁業ヲ實業ノ域ニ移シ本試験ヲ終ル

(2) 漁具構造ニ就テ

從來ノ經驗ニ因キ漁具構造上注意ヲ要ス可キ點ヲ舉グレバ

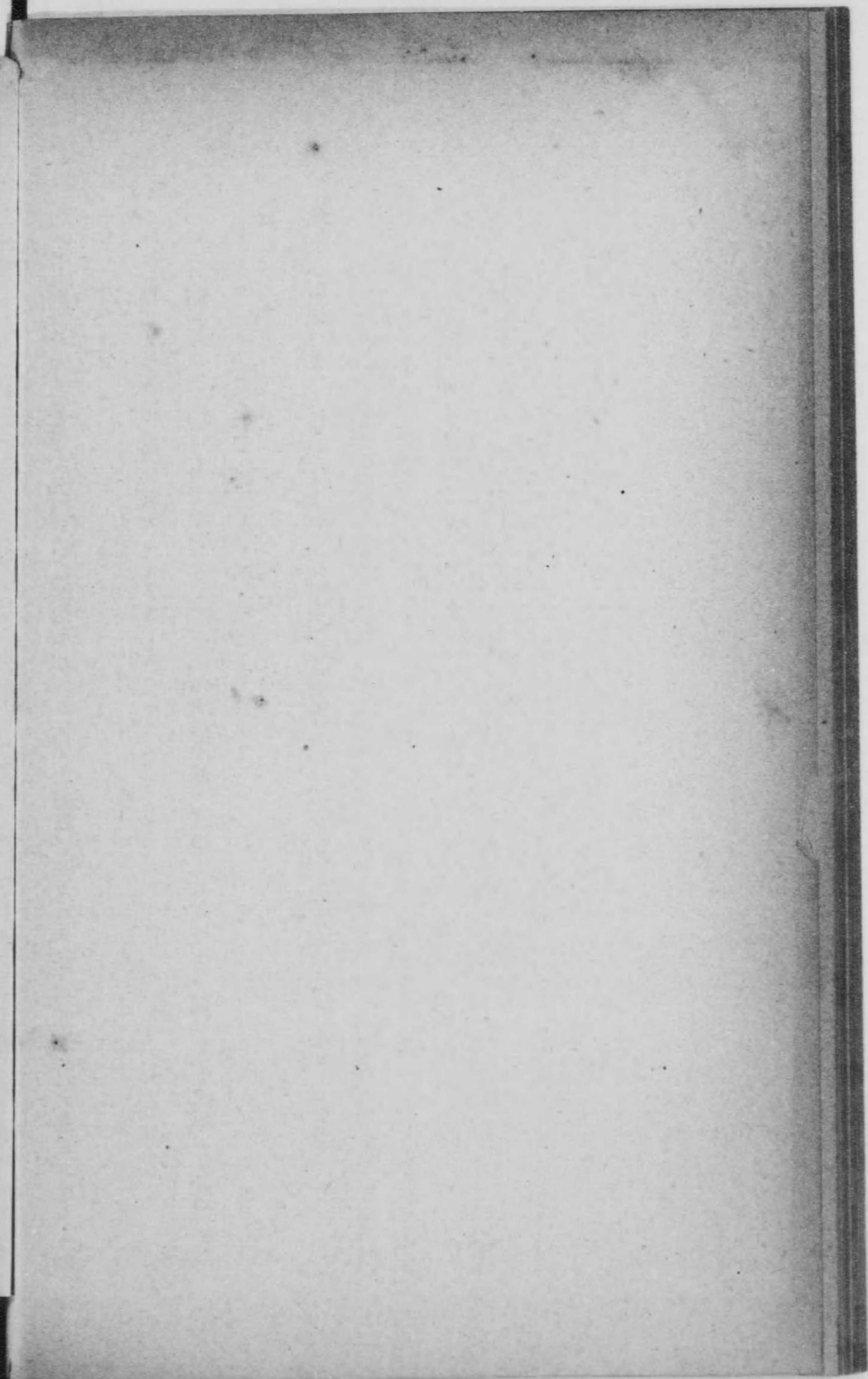
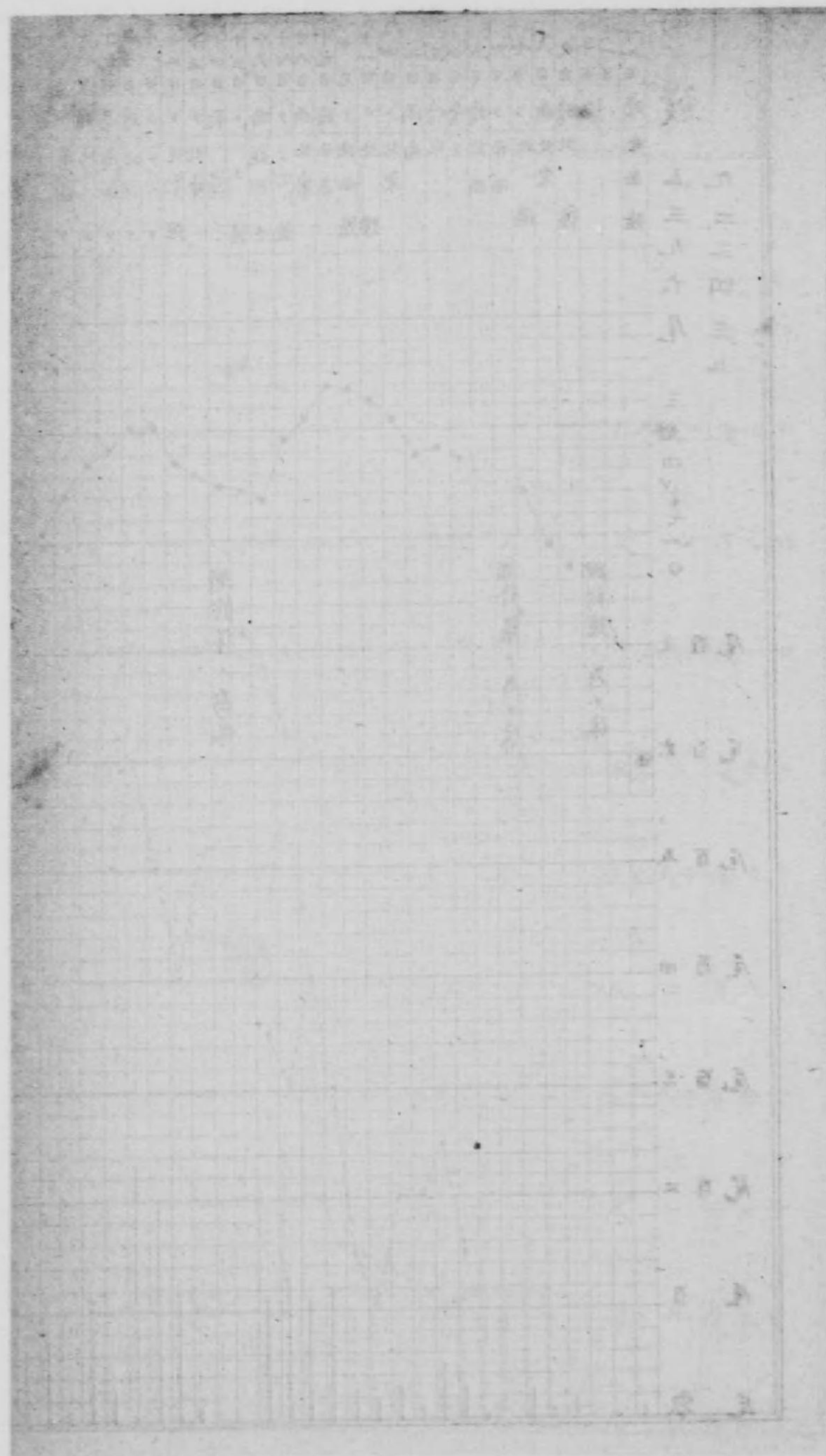
(イ) 網ハ袖及囊共使用上便宜ノ許ス限リ大ナラシムルヲ可ナリトス(現今使用スルモノハ此レニ近シ)

(ロ) 網ヲ大ナラシムル結果囊緊要部即チ囊端及喉網ノ付ケ口ハ綿糸四號六分目ヲ用キ他ハ綿糸三號八分目以上ヲ用キ可及的漁具ヲ輕カラシムルヲ可トス

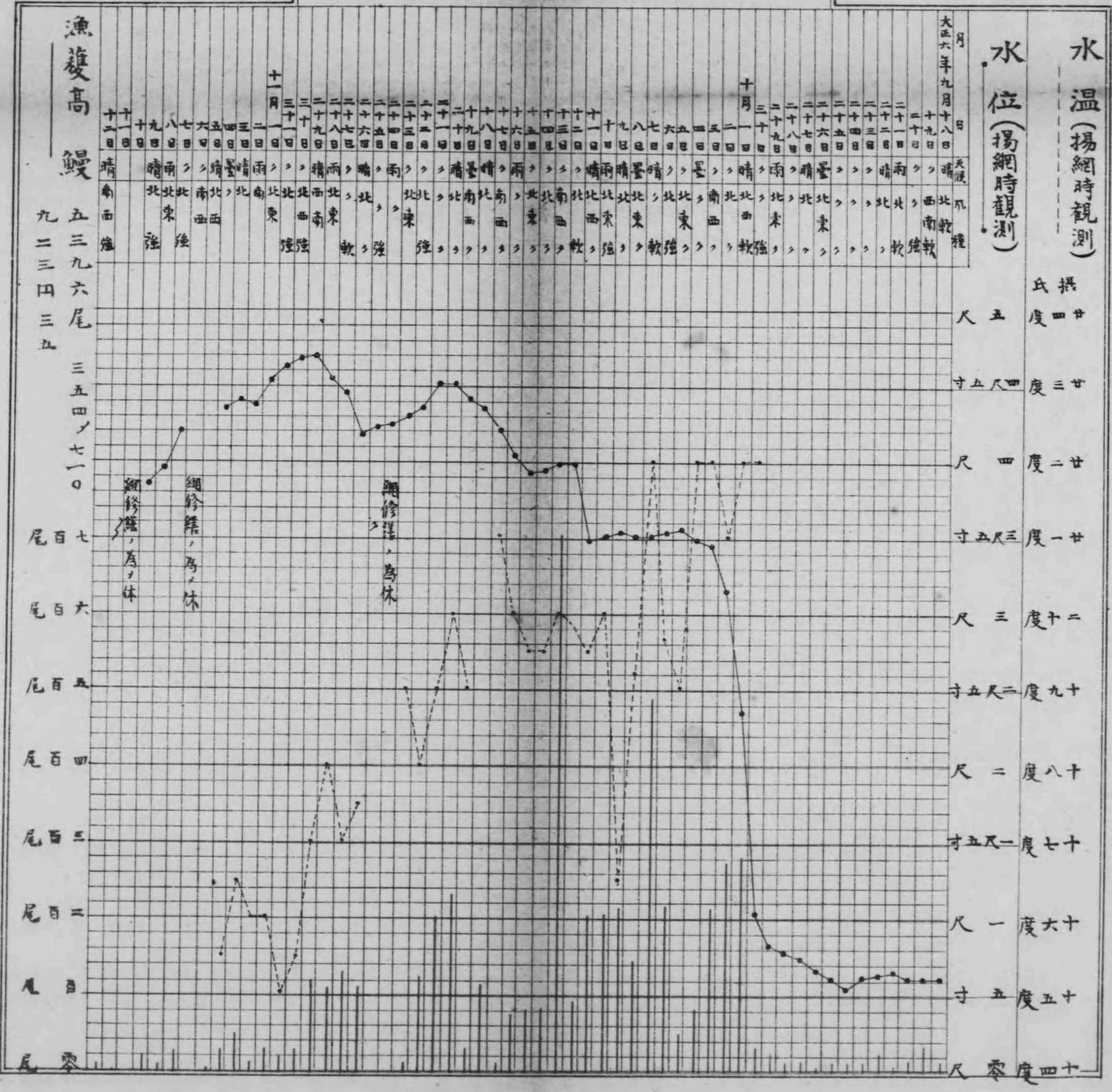
(ハ) 網目ハ皆テ水流ノ方向ニ横目ヲ用ヒ水壓ニ仍リテ網目ヲ開カシメ從テ「水ハケ」ヲ宜シカラシムルヲ可トス

(ニ) 袖丈ケハ囊口ニ於テ増大スルヲ可トス

(ホ) 網繩類ヲ切斷セラル、事屢々ナルガ故毎年該漁業ニ從事セムニハ沈子繩ハ沈子兼用ニテ鐵鎖ヲ用フルヲ強力ニシテ腐朽遅ク反テ經濟上有利ナリトス



大正六年九月十八日 瀬田川下鱖魚試験日誌



調査魚卵魚兒親魚配付及講話指導

一、烏介類體形調査

蕃殖保護上參考資料トシテ烏介類體形調査ヲ施行セシ成績左ノ如シ

【第一】おんからすかひ生殖腺成熟期

大正六年五月三日犬上郡磯田村大字須越濱漁獲及同四月廿六日栗田郡山田村大字北山田漁獲ノおんからすかひ (*Hyriopsis schlegelii* Mart.) ニツキ調査セルコト次ノ如シ

一、雌雄數ノ割合

二、生殖腺成熟ノ度合

三、動物學的最小形ノ決定

I、須越産介

體重	殻長	殻高	體厚	性別	生殖素及鰓ノ發達變化合度
九 <small>寸</small>	五五 <small>寸</small>	三〇 <small>寸</small>	一四 <small>寸</small>	雌	鰓水腫セズ卵巢發達シ卵ハ粒々分離ス
七 <small>寸</small>	五〇 <small>寸</small>	二九 <small>寸</small>	一三 <small>寸</small>	雄	
七 <small>寸</small>	五三 <small>寸</small>	二七 <small>寸</small>	一二 <small>寸</small>	雌	鰓水腫セズ卵巢内卵粒多含

六三	一〇	一六	一五	九四	六六	五七	四六	八〇	六二	六五	六〇	七〇	四七	六
五〇二	六・八	七三〇	六九〇	五五〇	五二〇	四七〇	四五二	五五二	四九三	四七〇	四八四	五一五	四五二	五三八
二・三	三・〇	三・七	三・五	三・一	二・八	二・七	二・六	二・九	二・八	二・八	二・六	二・八	二・七	三・〇
一・三	一・四	一・六	一・八	一・五	一・三	一・四	一・一	一・五	一・七	一・三	一・〇	一・六	一・〇	一・七
雌	雌	雌	雄	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雄	雌	雌	雄	雄

一、三 鰓水腫セズ卵巢内卵粒巨多
 一、四 同上
 一、六 鰓水腫鰓内巨多ノ卵ハ分裂中
 一、八 同上
 一、五 鰓水腫セズ卵巢内卵粒多
 一、三 鰓水腫鰓内卵ハ分裂初期
 一、四 鰓水腫セズ卵巢成熟
 一、一 鰓水腫セズ體腔内ニ多數ノ放卵ヲ見ル
 一、五 鰓水腫セズ鰓内放卵ヲ含ム
 一、七 鰓水腫鰓内卵第一分裂中
 一、〇 鰓水腫セズ巢内熟卵多
 一、六 同上

七五	五八	七	五二	四五	七	八〇	四七	八二	四八	五五	五五	五〇	六九	四三
五四五	四九五	四九〇	四六二	四四二	五四〇	五二二	四五〇	五五〇	四五二	四六五	四七二	四六二	五二〇	四五二
三・〇	二・七	二・七	二・六	二・五	二・八	二・九	二・六	三・〇	二・七	二・七	二・六	二・六	二・九	二・六
一・三	一・五	一・八	一・七	一・〇	一・三	一・四	一・二	一・七	一・三	一・〇	一・三	一・五	一・五	一・〇
雄	雄	雌	雄	雄	雌	雌	雌	雄	雄	雌	雌	雌	雄	雄

一、三 鰓水腫セズ卵巢内粒分セル卵多數
 一、五 同上
 一、八 鰓水腫鰓内ノ卵ハ分裂ノ半ニアリ
 一、七 鰓水腫セズ卵巢内卵粒多數
 一、〇 同上
 一、三 同上
 一、五 鰓水腫セズ卵巢内卵粒巨多
 一、五 同上

六二	六四	六二	九五	九四	六六	八五	一〇九	六四	八五	七一	六七	七五	八六	八七
四六三	五〇二	四五〇	五三六	五七五	五一〇	五五〇	六一〇	四九五	五四六	五二〇	五二〇	五二五	五六五	五六二
二七〇	二八一	二八五	三〇七	三二〇	二九〇	二九二	三〇〇	一一八	三二〇	二八五	二九〇	三〇〇	三二二	三二〇
一二五	一二五	一三五	一四〇	一四二	一二七	一四〇	一四八	一二八	一四二	一三五	一二七	一三五	一四〇	一三三
雌	雌	雌	雌	雄	雄	雄	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雌	雄

鰓水腫セズ巢内熟卵巨多
 鰓少シク水腫巢内ニノミ熟卵巨多
 鰓水腫セズ巢内熟卵多
 鰓水腫内卵巨多
 鰓水腫セズ水管部ニ放出セル卵多数アリ
 鰓水腫内卵巨多
 鰓水腫内ハガストルラスージニアリ
 鰓水腫内卵巨多
 鰓水腫セズ卵巢成熟
 同上
 鰓水腫内 卵巨多

八二	五九	四五	七七	六三	六二	八五	七〇	五四	三九	三九	四〇	四九	七五	七五
五五〇	五〇二	四三七	四三二	四九〇	五〇三	五五五	五〇〇	四九八	三九七	四二三	四二三	四八二	五一五	四八〇
三三〇	二六八	二六〇	三〇〇	二七五	二八六	三〇八	二八五	二八〇	二四〇	二三〇	二四〇	二九二	二九〇	二八八
一三五	一二五	一〇〇	一三七	一二五	一二〇	一二七	一三〇	一二〇	一〇〇	一〇五	一〇五	一二二	一二五	一三六
雄	雄	雌	雌	雄	雌	雌	雄	雌	雄	雌	雌	雌	雌	雄

鰓水腫セズ巢内熟卵巨多
 鰓水腫内卵分裂中
 鰓水腫セズ巢内熟卵多
 同上
 同上
 同上
 鰓水腫セズ巢内熟卵多

六七	二七	六七	三三	六〇	五六	六五	四四	六六	六六	七五	五六	四五	五九
五・一〇	三・五〇	五・〇三	三・八九	四・六七	四・六八	四・九三	四・四二	五・五八	五・一〇	五・〇八	五・四二	四・四〇	四・八五
二・九五	二・二五	二・〇九	二・四〇	二・八二	二・六三	二・九〇	二・四六	三・一〇	二・九五	二・九〇	二・九三	二・六三	二・七二
一・三〇	一・〇〇	一・二八	一・〇〇	一・二五	一・二四	一・二五	一・〇七	一・四五	一・二八	一・二五	一・三五	一・三二	一・三〇
雄	稚	雄	雄	雄	雄	雌	雄	雌	雌	雌	雌	雄	雌
			生殖腺ハ卵巢ニ似タレドモ卵粒ヲ認メズ			總水腫セズ水管部ニ既ニ放出卵多		同上	同上	同上	同上	總水腫セズ卵巢成熟	總水腫セズ卵巢成熟
				雌雄別チ難シ		同上							

三〇	二七
三・七一	三・六〇
二・一〇	二・〇七
一・〇一	一・〇〇
稚	雄
生殖腺ハ卵巢ニ似タレドモ卵粒ヲ認メズ	

雄介ハ皆精囊内成熟シ乳白液ヲ滲出ス之レヲ檢鏡スレバ何レモ精蟲ノ形成セルヲ見ル

計	
雄	雌
稚介	
二個	四八個
三〇個	

雄			雌			殻長	殻高	體厚	體重
最小形	最大形	平均形	最小形	最大形	平均形				
三・七二	六・九〇	四・九七	三・八九	七・三〇	五・〇五	二・二〇	二・八四	一・二八	六・五九
			二・四〇	三・七七	二・二六		一・六八	一・五五	三・〇〇
			一・〇〇	一・六〇	一・一六		一・六八	一・五五	三・〇〇
			三・〇〇	一・五五	一・一六		一・六八	一・五五	三・〇〇

本材料ハ漁獲後三四日ヲ經テ驗セルヲ以テ其間既ニ卵ヲ放出シ總水腫セルモノ少數トナレリサレド卵仔既放出ノモノニ於テモ孕抱中ノモノニ於テモグロキヂユームニ迄發達セル胚ヲ認メザリキ

II、北山田産介

體重	殼長	殼高	體厚	性別	生殖素及鰓ノ成熟變化ノ有無
七.〇	五.〇〇	二.九〇	一.二二	雄	鰓水腫セズ體內ニ粒分セル卵ヲ孕ム
六.五	四.九〇	二.七五	一.二五	雄	
〇	四.九五	二.八五	一.二〇	雌	鰓水腫シテ多量ニ抱卵ス
〇	四.八五	二.八〇	一.二八	雌	
〇	四.七五	二.六〇	一.二二	雌	同上
〇	四.六八	二.六二	一.二三	雌	
〇	四.九八	二.七五	一.二二	雄	鰓水腫抱卵
〇	四.八一	二.七〇	一.二五	雌	
六.五	四.五〇	二.六〇	一.二〇	雌	同上
〇	四.五五	二.七二	一.〇七	雌	
〇	四.四〇	二.五七	一.二〇	雌	鰓水腫セズ卵巢未ダ成熟セズ
〇	四.〇七	二.四七	一.二八	雄	
〇	四.五五	二.六八	一.二五	雌	鰓水腫抱卵
〇	四.五五	二.六八	一.二五	雌	

〇	〇	一.〇三	雄
三.五二	四.〇八	二.四〇	雌
二.〇八	二.四〇	九.〇	雌

雌雄ヲ區別シ難シ

計	雄	雌
稚介	八個	一〇個
	一個	

雄			雌			殼長	殼高	體厚	體重
最小形	最大形	平均形	最小形	最大形	平均形				
四.〇八	五.〇〇	四.六一	四.四〇	五.三〇	四.七三				
二.四〇	二.九〇	二.六三	二.五七	二.九五	二.七二				
一.〇三	一.二二	一.一七	一.一〇	一.三三	一.二八				

備考 一、本材料ハえびシ介ト共ニ混漁セラレタル小形ノモノノミナレバ雄介ノ類比較的多キガ如シ
 二、漁獲後直チニ驗シタリ

附記 (Cristaria herculea ridl.)

めんからす介ハ四月下旬既ニ生殖期終リ須越漁獲一五ケ(四月卅日)三八ケ(五月三日)中卵粒ヲ孕持セルモノ一ツモナク只三八ケ中〇猶水腫セルモノ七ケヲ見タレドモ卵子ハ既ニ無シ又舊浦漁獲(四月廿

七日(二〇ケ中ニモ卵粒孕持セルモノヲ認メズ)

【第二】おんからすかひ、めんからすかひ漁獲物体形ノ測定

一般漁獲セラルおんからすかひ(いけてふかひ)及めんからすかひノ大サ如何ヲ知ラントシテ野洲郡中洲村大字菖蒲、犬上郡磯田村大字須越、栗田郡山田村大字北山田、蒲生郡安土村大字下豊浦ノ各漁場漁獲ニカ、ルモノ殻長殻高体厚等ヲ測定シ別圖ノ如キ數ヲ得タリ

今其測定ノ結果ヲ平均シ表示スレバ

1、おんからすかひ (Hyriopsis schlegelii Martz.)

漁場別	平均殻長	平均殻高	平均体厚	最多漁獲殻長	最大殻長	最小殻長
菖蒲	四八 ⁺ 三	二七 ⁺ 〇	一 ⁺ 二四	三五 ⁺ 〇—五 ⁺ 〇〇	七八 ⁺ 〇	三 ⁺ 二二
須越	五 ⁺ 四四	二八 ⁺ 九		四五 ⁺ 〇—五 ⁺ 二〇	七五 ⁺ 〇	二九 ⁺ 〇
下豊浦	五七 ⁺ 六	三三 ⁺ 九	一五 ⁺ 三	五〇 ⁺ 〇—五 ⁺ 五〇	八五 ⁺ 〇	三五 ⁺ 五
北山田(大)	五二 ⁺ 七	二九 ⁺ 〇	一三 ⁺ 一	四〇 ⁺ 〇—五 ⁺ 五〇	七〇 ⁺ 五	三八 ⁺ 七
同(小)	四二 ⁺ 六	二四 ⁺ 九	一一 ⁺ 二	三五 ⁺ 〇—四 ⁺ 五〇	五三 ⁺ 〇	三二 ⁺ 七

2、めんからすかひ (Cristaria heroulea Midd.)

漁場別	平均殻長	平均殻高	平均体厚	最多漁獲殻長	最大殻長	最小殻長
菖蒲	五〇 ⁺ 二	三〇 ⁺ 六	一 ⁺ 九一	四〇 ⁺ 〇—五 ⁺ 二〇	六三 ⁺ 〇	二 ⁺ 一〇
須越	三八 ⁺ 六	二四 ⁺ 五	一五 ⁺ 〇	三二 ⁺ 〇—四 ⁺ 五〇	五六 ⁺ 五	二〇 ⁺ 〇
下豊浦	四九 ⁺ 〇	三三 ⁺ 三	二〇 ⁺ 二	四五 ⁺ 〇—五 ⁺ 五〇	六九 ⁺ 〇	二八 ⁺ 〇

備考 一、おんからすかひノ各材料ハ皆めんからすかひヲ主トシテ漁獲スル際少數宛混ジ漁セラレタルモノナリ但シ北山田ニ於テハえぼし介ヲ主トシテ漁獲スル際混ジ漁セラルモノ多シ表中北山田(小)トアルハ即チ此ノモノナリ

おんからすかひ各材料ノ漁獲時ハ次ノ如シ

菖蒲	大正六年二月上旬乃至四月下旬
須越	同 四月上旬乃至下旬
下豊浦	同 三月下旬乃至四月下旬
北山田(大)	同 三月中旬乃至下旬
北山田(小)	同 四月下旬

二、めんからすかひノ各材料ノ漁獲時ハ皆大正六年四月下旬ナリ

三、漁具ハ須越ノ手繰網ノ外ハ皆五寸内外ノ爪ヲ有スル内桁ヲ用フ其ノ網目ノ大サ次ノ如シ

葛 蒲……………方 一寸

須 越……………同

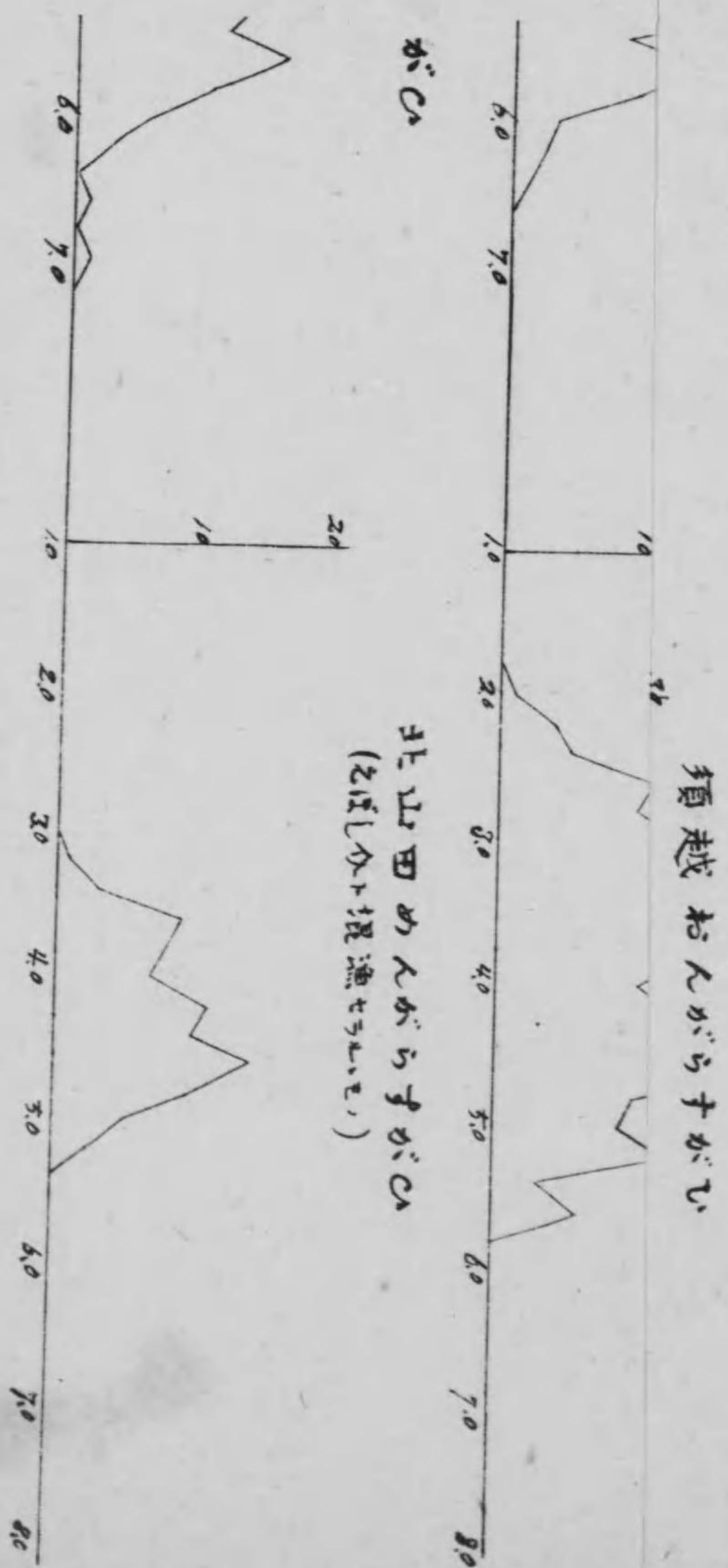
下 豊 浦……………方 一寸二分

北山田(大)……………同

北山田(小)……………方 五分

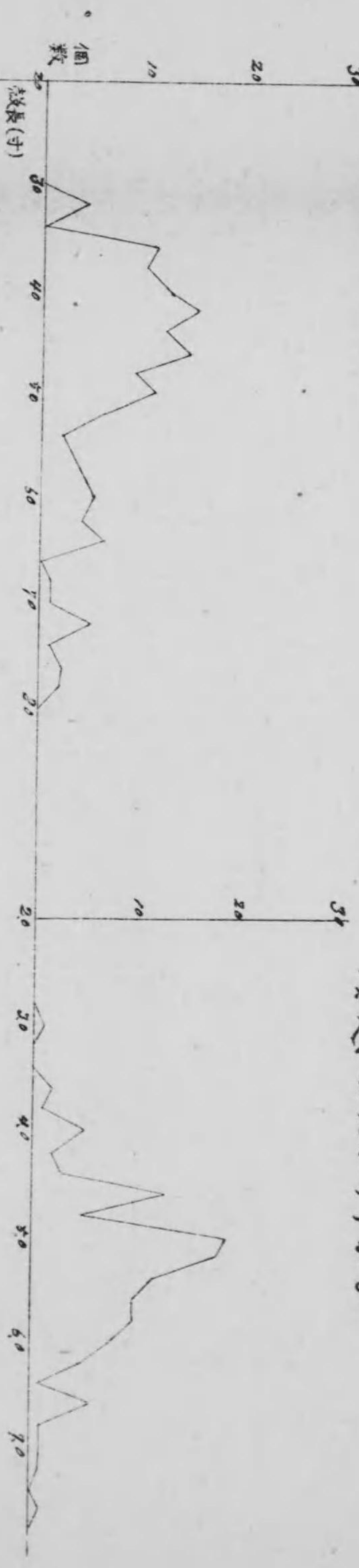
但シ漁場ハ深泥底ナルヲ以テ網目ハ泥ノ爲メニ閉ザサレ網目ヲリ極ク小形ノモノモ共ニ引キ揚ゲラル、ガ取り揚ゲニ際シ泥ヲ搖リ落ス故極小形ノモノハ落ツレドモ漁夫ハ漁量ノ多カラシムルニ依リ洗泥ヲ半ニシテ小形ノモノモ逃サズト云フ
ナレバ網目ノ大小ハ漁獲物ノ形状ニ差シタル影響ヲ與ヘザルモノト思惟セラル

いらすがび類 殻長ト個体数

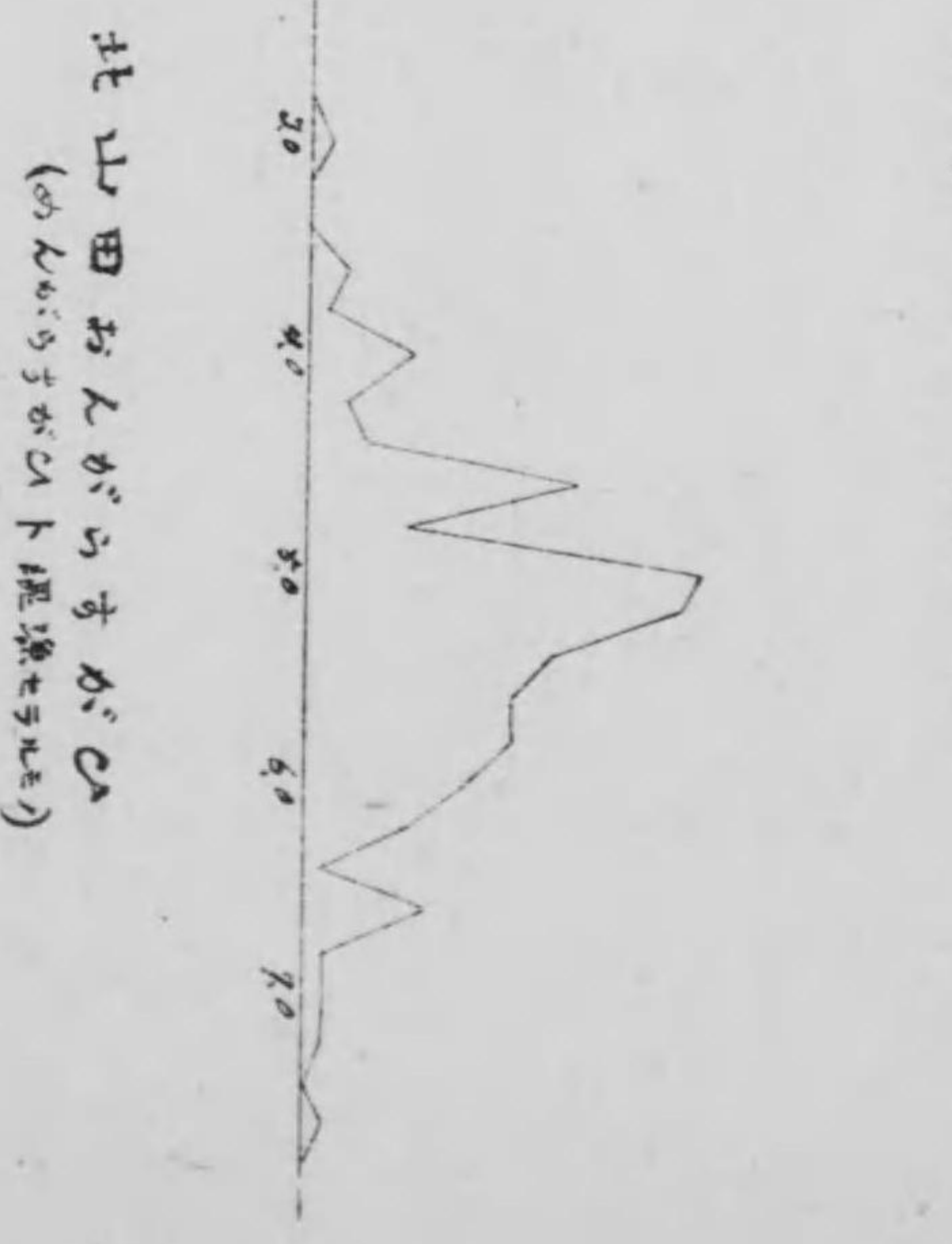


からすがひ類 殻長ト個体数

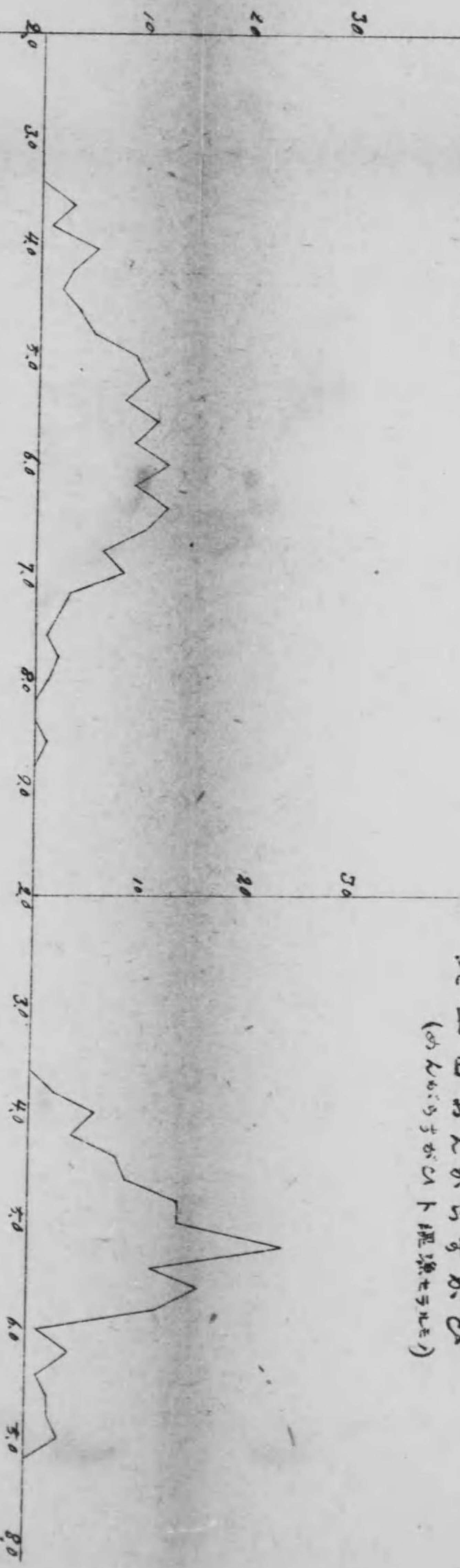
昔浦 おんがらすがひ



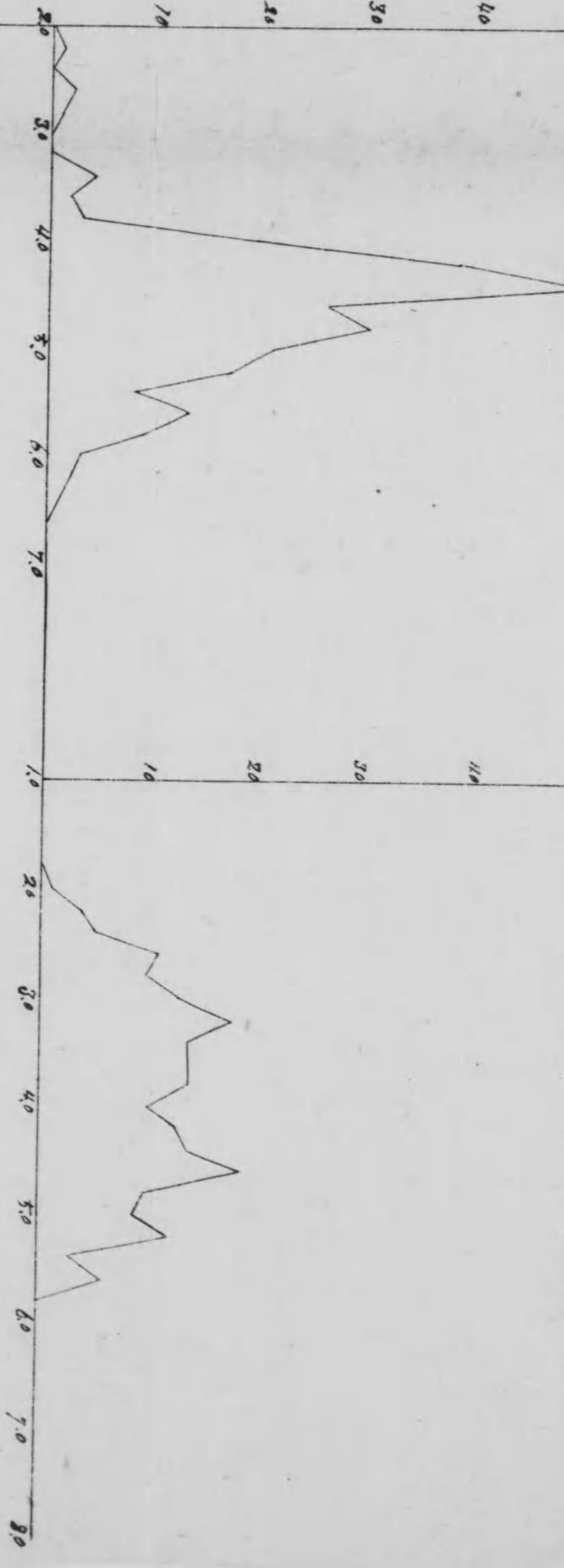
須越 おんがらすがひ



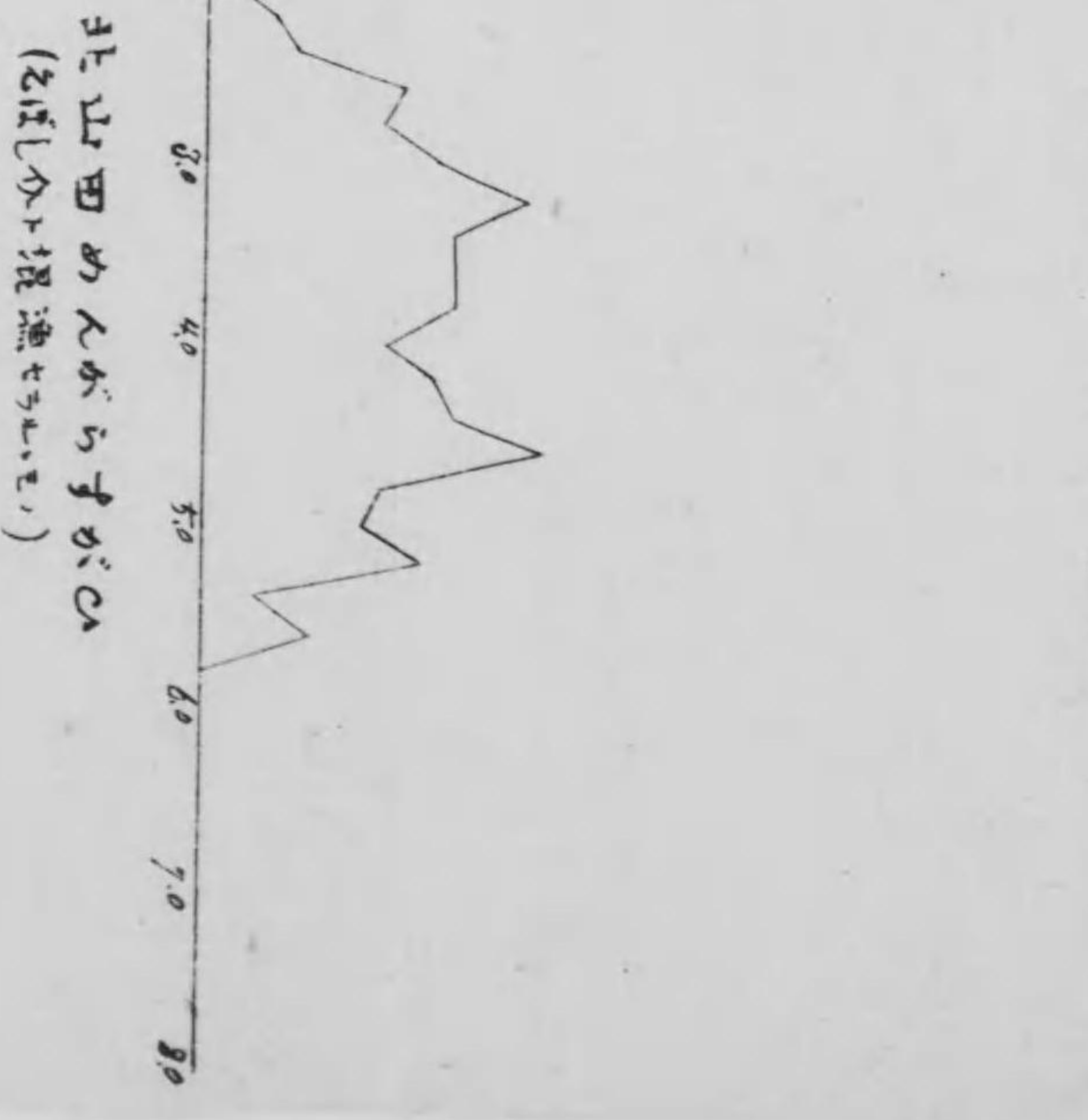
下豊浦 おんがらすがひ



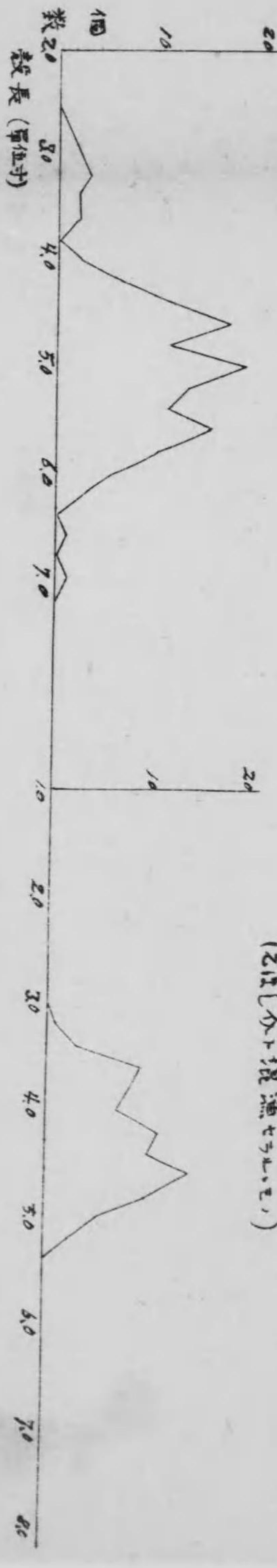
昔浦 おんがらすがひ



須越 おんがらすがひ



下豊浦 おんがらすがひ



北山田 おんがらすがひ
(北山田ノ混濁セラル)

二、湖 水 調 査

本年度ニ於テ左記地點ニ於テ各月水温横斷観測ヲ施行セル結果次ノ如シ

(A) 観測基線 犬上、北青柳村大藪北川口ヨリ多景島南端ヲ見通シタル線上及多景島南端ヨリ今津ヲ見通シタル線上

測 点 (一) 北川口北側湖岸

(二) 湖岸ヲ距ル約十町

(三) 同 約二十町

(四) 同 約三十町(南三上山北長濱ヲ連ヌル線ト基線トノ交点)

(五) 同 約四十町(南荒神山北山本山ヲ連ヌル線ト基線トノ交点)

(六) 同 約五十町(南荒神山北葛籠尾崎ヲ連ヌル線ト基線トノ交点)

(七) 多景島南端

(八) 多景島南端ヲ今津ニ向ヒ(北面)ニ距ル約五町

(九) 同 約二十町(南沖ノ島南端北姉川森ヲ連ヌル線ト基線トノ交点)

日一月五	日十三月三	月別
(九)(八)(六)(五)(四)(三)(二)(一)	(九)(八)(六)(五)(四)(三)(二)(一)	地点
八三〇 八二〇 八一〇 八〇〇 七九〇 七八〇 七七〇 七六〇	八三〇 八二〇 八一〇 八〇〇 七九〇 七八〇 七七〇 七六〇	觀測時
同同同同同同同	同同同同同同同	天候
同同同同同同同	同同同同同同同	風種
一六四 一六二 一五八 一四八 一四五 一四五 一三三 一二七	九九 九四 八六 八五 八三 八〇 七二 七二	氣溫
一一二 一一〇 一〇九 一〇九 一〇九 一〇九 一〇九 一〇九	八二 八二 八二 八二 八二 八二 八二 八二	表面
一〇九 一〇五 一〇六 一〇六 一〇六 一〇六 一〇六 一〇六	七五 七五 七五 七五 七五 七五 七五 七五	下二尋
九七五 九八 一〇二 一〇二 一〇二 一〇二 一〇二 一〇二	七二 七二 七二 七二 七二 七二 七二 七二	下五尋
九〇 九三 九八 九八 九八 九八 九八 九八	七二 七〇 七二 七四 七五 七五 七五 七五	下十尋
八九 九〇 九〇 九二 九二 九二 九二 九二	七二 七〇 七二 七四 七五 七五 七五 七五	下十五尋
八七 九〇 八八 八六 八六 八六 八六 八六	七二 七〇 七二 七四 七五 七五 七五 七五	下二十尋
八三 七五 七五 七五 七五 七五 七五 七五	七二 六九 六九 六九 六九 六九 六九 六九	下三十尋
七五 七五 七八 八六 八五 八八 九八 一〇四	七〇 六八 七一 七二 七五 七七 七七 七七	下四十尋
三九八 三三八 二五四 二〇四 一六三 八四 五八 五八	四五〇 三四〇 二五〇 一八〇 一三〇 九〇 七〇 七〇	底深

九五

日三月三	日六十二月一年六正大	月別
(九)(八)(六)(五)(四)(三)(二)(一)	(九)(八)(六)(五)(四)(三)(二)(一)	地点
八五〇 八四〇 八三〇 八二〇 八一〇 八〇〇 七九〇 七八〇	九二五 一〇〇〇 一〇二五 一〇四〇 一〇四五 一〇五〇 一〇五五 一〇六〇	觀測時
同晴同同快晴	同同同同同曇同晴	天候
西軟無西微同同同無東微	同同同同同同同無	風種
七四 七一 七一 六六 五五 五四 四八 四〇	五八 四八 四二 四〇 四〇 三七 三七 三七	氣溫
六七 七五 七〇 七〇 六九 六七 六七 六五	八三 八二 七八 七九 七八 七六 七二 六五	表面
六八 六七 六七 六七 六七 六五 六五 六五	七九 七九 七五 七八 七七 七五 七二 六六	下二尋
六七 六七 六六 六六 六六 六五 六五 六五	七八 七八 七四 七七 七七 七五 六六 六六	下五尋
六七 六七 六六 六六 六六 六五 六五 六五	七八 七八 七四 七七 七七 七五 六六 六六	下十尋
六七 六七 六六 六五 六五 六五 六五 六五	七八 七八 七四 七五 六七 六七 六七 六七	下十五尋
六七 六七 六六 六四 六四 六四 六四 六四	七六 七七 七四 七四 七四 七四 七四 七四	下二十尋
六七 六五 六五 六五 六五 六五 六五 六五	七四 七五 七五 七五 七五 七五 七五 七五	下三十尋
六六 六五 六三 六四 六五 六五 六五 六五	七三 七四 七四 六九 六七 六七 六七 六七	下四十尋
四二〇 三四八 二五〇 二二四 一六〇 七九 六〇 六〇	四〇二 三三四 二五六 一八四 一五〇 一〇〇 七〇 七〇	底深

九四

日 二 月 九						日 一 月 八						月別
(九)	(八)	(六)	(五)	(四)	(三)	(九)	(八)	(六)	(五)	(四)	(三)	地点
午後 0.45	1.15	1.50	2.00	2.45	午後 8.20	午後 1.30	1.45	2.00	2.15	2.45	午後 8.30	觀測時
霽雨	同	同	同	曇雨	同	同	同	快晴	同	同	曇	天候
無	西和	西軟	同	同	無	同	西和	西微	無	同	西微	風種
29.1	29.0	28.8	28.9	28.0	27.0	31.3	31.5	31.3	31.9	31.7	31.1	氣温
26.1	26.1	26.1	26.2	26.0	26.0	29.4	29.4	29.2	28.8	28.7	29.2	表面
25.8	25.7	25.8	25.9	25.6	25.9	28.9	28.3	28.2	28.3	28.4	28.5	下二尋
25.4	25.2	25.7	25.5	25.4	25.8	24.2	26.9	26.9	26.8	27.5	27.3	下五尋
16.5	19.9	16.9	19.9	17.6		16.2	16.9	17.7	17.8	17.8		下十尋
14.0	15.2	13.4	11.9	13.8		22.8	22.5	23.2	23.4	24.0		下十五尋
11.2	11.4	11.2				10.4	10.7	11.1	10.3			下二十尋
9.2	11.4					8.7	8.5					下三十尋
												下四十尋
8.2	9.2	9.5	11.0	11.3	11.8	7.8	8.4	9.5	9.9	11.6	11.1	底温
39.0	33.3	33.3	19.2	16.5	11.0	39.8	31.0	24.0	20.6	15.8	9.0	底深

日 四 月 七						日 一 月 六						月別
(九)	(八)	(六)	(五)	(四)	(三)	(九)	(八)	(六)	(五)	(四)	(三)	地点
午後 1.20	1.30	1.45	1.50	2.00	午後 8.25	午後 1.40	1.55	2.00	2.15	2.30	午後 8.20	觀測時
同	同	同	同	同	曇	同	同	曇	同	同	晴	天候
同	軟南	軟南	無	軟南	同	同	和北	同	同	軟北	無	風種
27.8	27.7	27.3	27.1	27.0	27.7	33.8	33.8	34.6	34.4	33.5	33.0	氣温
24.0	24.4	24.3	24.0	24.3	24.5	17.3	17.2	17.0	16.8	16.3	17.0	表面
23.8	23.5	23.8	23.5	23.9	24.1	16.4	16.2	15.9	15.3	15.3	15.6	下二尋
20.8	21.0	21.4	21.9	21.3	21.0	14.3	14.3	13.8	14.6	14.6	14.3	下五尋
15.6	15.6	15.8	14.7	14.7		11.6	11.6	11.5	11.3	11.8		下十尋
12.7	12.9	13.6	12.8	12.7		9.8	9.8	10.7	9.9			下十五尋
9.9	9.8	10.4	9.5			9.7	9.7	9.0				下二十尋
8.9	9.0					8.6	8.5					下三十尋
8.3						7.5						下四十尋
7.6	8.2	8.5	9.5	11.5	11.2	7.5	8.5	9.0	9.9	11.3	11.2	底温
40.0	33.0	27.0	23.2	17.1	9.1	41.2	36.0	23.4	19.0	14.7	9.0	底深

月	日	觀測時	天候	風種	氣溫	表面	水	底溫	底深
大正七年	一月廿六日	午後 一二五	曇	無	五八	八三	七九	七八	四〇二
	三月三日	〇二二〇	晴	西軟	七四	七七	六八	六七	四二〇
	三月三十日	〇四〇〇	快晴	南和	九九	七八	七五	六七	四二〇
	五月一日	〇一四三	同	西微	一六四	一二三	一〇九	九七	三九八

測点(九)(多景島沖北西約二十町)ニ於ケル各月ノ垂測結果

月別	地點	觀測時	天候	風種	氣溫	表面	水	底溫	底深
(一)	(一)	午前 一〇二五	曇	南東	九四	一一五	二二七	二二七	六六
(二)	(二)	〇三六	同	同	九四	一一八	二二八	二二八	九二
(三)	(三)	〇五〇	同	無	九六	一二九	二二九	二二九	一七二
(四)	(四)	〇五〇	同	東和	九六	一二九	二二九	二二九	一七二
(五)	(五)	午後 〇一五〇	同	無	九五	一二九	二二九	二二九	二三〇
(六)	(六)	〇四四〇	同	東微	九七	一二〇	二二九	二二九	二八五
(八)	(八)	〇四三	同	無	九七	一二〇	二二九	二二九	三三二
(九)	(九)	〇五三二	同	北西	九九	一二二	二二二	二二二	四〇八

月別	地點	觀測時	天候	風種	氣溫	表面	水	底溫	底深
(一)	(一)	午前 八三〇	曇	北軟	二二	二三〇	二二八	二二六	六五
(二)	(二)	〇四〇〇	同	同	二二	二三〇	二二八	二二六	九〇
(三)	(三)	〇四三〇	同	北微	二二	二三三	二三二	二二六	一四〇
(四)	(四)	〇四三〇	同	同	二二	二三三	二三二	二二六	二〇〇
(五)	(五)	午後 〇一五〇	同	北軟	二二	二三三	二三二	二二六	二〇〇
(六)	(六)	〇四三〇	同	北疾	二二	二三三	二三二	二二六	二七〇
(八)	(八)	〇三〇五	同	同	二六	二三二	二三〇	二二六	三三〇
(九)	(九)	〇五〇五	同	同	二六	二三二	二三〇	二二六	三八四

六月一日	七月四日	八月一日	九月二日	十月六日	十一月一日	十二月六日
一〇・四〇	一〇・三〇	一〇・三〇	一〇・三〇	一〇・五〇	一〇・五〇	一一・三〇
曇	曇	快晴	雨	曇	同	同
北西和	南東軟	西和	北疾	北疾	北西和	北西和
二三八	二七八	三三三	二九二	二六三	九四九	九四九
一七三	二四〇	二九四	二六二	二五八	二二二	二二二
一六四	二〇八	二八九	二五八	二四二	一一一	一一一
一四三	二〇八	二六二	二五八	二四二	一一一	一一一
一一六	二五六	二六二	二五八	二四二	一一一	一一一
九八	二二七	二二八	一九六	一九六	一一一	一一一
九七	九九	二〇四	二二二	一九六	一一一	一一一
八六	八九	八七	九二	九二	一一一	一一一
七五	八三	八七	八二	八二	一一一	一一一
四二	四二	三九八	三九八	三八四	四〇〇	四〇八

猶ホ左記地点ニ於テ二月、五月、八月、十一月ノ四回水温横断観測ヲ施行セリ

(口)観測基線 高島郡百瀬村知内人通川北側ヨリ多景島ヲ見通シタル線上

測点 (一)人通川口湖岸

(二)湖岸ヲ距ル約五町

(三)同 約十二町

(四)同 約二十五町(南右田川尻北大崎ヲ連ヌル線ト基線トノ交点)

(五)同 約五十町 (南今津北葛籠尾崎ヲ連ヌル線ト基線トノ交点)

(六)同 約八十町 (南石田川尻北姉川尻ヲ連ヌル線ト基線トノ交点)

日三月二十	日六月八	年六正大 日九月五	地点	観測時	天候	風種	氣温	水面	水	温	底深
(一) 三・四五	(一) 七・四〇	(一) 七・四五	(一)	午前七時	曇	無	二六三	二二〇	二一八	九二	三九〇
(二) 二・四三	(二) 八・三五	(二) 八・二〇	(二)	午前八時	曇	無	二七〇	二二二	二一九	九〇	四〇〇
(三) 二・四二	(三) 八・四六	(三) 八・一〇	(三)	午前九時	同	同	二七二	二二二	二一八	八五	四〇一
(四) 二・四二	(四) 八・四六	(四) 八・一〇	(四)	午前九時	同	同	二七二	二二二	二一八	八五	四〇一
(五) 二・四二	(五) 八・四六	(五) 八・一〇	(五)	午前九時	同	同	二七二	二二二	二一八	八五	四〇一
(六) 二・四二	(六) 八・四六	(六) 八・一〇	(六)	午前九時	同	同	二七二	二二二	二一八	八五	四〇一
(七) 二・四二	(七) 八・四六	(七) 八・一〇	(七)	午前九時	同	同	二七二	二二二	二一八	八五	四〇一
(八) 二・四二	(八) 八・四六	(八) 八・一〇	(八)	午前九時	同	同	二七二	二二二	二一八	八五	四〇一
(九) 二・四二	(九) 八・四六	(九) 八・一〇	(九)	午前九時	同	同	二七二	二二二	二一八	八五	四〇一
(十) 二・四二	(十) 八・四六	(十) 八・一〇	(十)	午前九時	同	同	二七二	二二二	二一八	八五	四〇一
(十一) 二・四二	(十一) 八・四六	(十一) 八・一〇	(十一)	午前九時	同	同	二七二	二二二	二一八	八五	四〇一
(十二) 二・四二	(十二) 八・四六	(十二) 八・一〇	(十二)	午前九時	同	同	二七二	二二二	二一八	八五	四〇一

(六)	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
(七)	同	西	同	同	同	同	同	同	同	同	同

月平均氣温及表面水温昇降表 (彦根測候所氣象月報抜)

月	氣 温				湖 岸 水 温				
	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低
一	一四	五〇	一九	五三	七五	二五	六二	七六	二五
二	二二	六三	一六	五五	七六	三二	五六	七〇	四三
三	五二	九四	一三	七六	九三	四三	七五	一〇〇	五二
四	一一〇	一六六	六四	二二三	一四七	一〇二	一一二	一三九	九五
五	一四〇	二〇二	八五	一五五	一九五	一一〇	一四一	一八〇	一一二
六	一九七	二四四	一五九	二〇四	二五三	一六一	一九二	二三六	一五六
七	二六五	三三八	二二七	二七四	三〇五	二二二	二六五	二九三	二二七
八	二五二	三〇四	二二〇	二八二	二九九	二二二	二六七	二八九	二八六
九	二三〇	二七二	一九九	二六二	二八〇	二二六	二五八	二八五	二三〇
十	一六九	二〇七	一三五	二〇二	二二三	一七三	二〇二	二三九	一七四
十一	八〇	一二二	四三	二〇二	二二三	一七三	二〇二	二三九	一七四
十二	三五	七二	〇二	八一	二八	四一	八七	二二	四九

但シ 負ハ氷點以下ノ意トス
湖岸ハ犬上郡北青柳村大字長曾根湖岸トス

三、漁 況 調 査

湖水漁業ノ狀況ヲ調査セムガ爲メ沿湖六ヶ所ニ漁業報告員ヲ配置シ前年度ニ引續キ日々ノ漁況ヲ調査報告セシメタリ

四、魚兒魚卵無償配付

不用水面利用養魚ノ普及ト改善ヲ謀ランガ爲メ前年度ニ同ジク本場魚兒魚卵配付規程ニ據リ鯉兒及鱒卵ノ無償配付請求者ニ對シ養魚池及養魚計畫ノ適否ヲ調査シ本場養成ノ當歳鯉兒體長三寸乃至五寸平均體量六匁八分強ノモノ總數一萬二千五百尾此ノ總量七十五貫九百四十匁ヲ及鱒發眼卵二千粒ヲ左記ノ通り十八箇所ヘ大正六年十二月二十五日ヨリ同七年一月十五日迄ニ配付ヲナシタリ

配付月日	配付魚		配付尾數	養魚池面積	養魚經營者
	魚種	體長			
大正六年十二月二十七日	鯉	自三寸至五寸	一,〇〇〇尾	溜池一個 四,〇六坪	栗太郎老上村青年團野路支部
同 十二月二十六日	鯉	自三寸至五寸	六〇〇尾	同 上 七〇二坪	蒲生郡苗村青年團林支部

大正六年 十二月二十七日	鯉 自三寸 至五寸	五〇〇尾	同	三個	二九〇坪	蒲生郡櫻川村青年團寺支部
同 十二月二十七日	鯉 自三寸 至五寸	一〇〇〇尾	同	一個	四二六坪	野洲郡篠原村青年團小篠原支部
大正七年 一月十五日	鯉 自三寸 至五寸	六六五尾	同	上	四五〇坪	野洲郡在郷軍人會中洲分會新庄支部
同 一月十五日	鯉 自三寸 至五寸	三〇〇尾	同	上	四五〇坪	野洲郡中洲村大字小濱
同 一月十五日	鯉 自三寸 至五寸	一〇〇〇尾	沼池	一個	一四八〇坪	野洲郡中洲村大字小濱
大正六年 十二月二十六日	鯉 自三寸 至五寸	六四〇尾	沼池	一個	七五二坪	甲賀郡貴生川村青年團虫生野支部
同 十二月二十六日	鯉 自三寸 至五寸	五〇〇尾	沼池	一個	七五二坪	甲賀郡貴生川村大字虫生野
同 十二月二十六日	鯉 自三寸 至五寸	三三〇尾	同	上	一五五坪	甲賀郡貴生川村大字虫生野
同 十二月二十七	鯉 自三寸 至五寸	一〇〇〇尾	同	上	二五七坪	犬上郡多賀村青年團
同 十二月二十八日	鯉 自三寸 至五寸	五〇〇尾	養魚池	一個	一〇四坪	坂田郡東黒田村大字長岡
同 十二月二十五日	鯉 自三寸 至五寸	三〇〇〇尾	同	上	四坪	坂田郡息長村大字能登瀬
同 十二月二十五日	鯉 自三寸 至五寸	一〇〇〇尾	沼池	三個	四四〇坪	坂田郡春照村大字大清水
同 十二月二十七日	鯉 自三寸 至五寸	八〇〇尾	養魚池	一個	一〇坪	東淺井郡上草野村農會
同 十二月二十七日	鯉 自三寸 至五寸	五八〇〇尾	養魚池	一個	一〇坪	東淺井郡上草野村農會

同 十二月二十七日	鯉 自三寸 至五寸	一〇〇尾	同	上	四坪	東淺井郡上草野村尋常小學校
同 十二月二十八日	鯉 自三寸 至五寸	五〇〇尾	同	上	四坪	東淺井郡小谷村
同 十二月二十六日	鯉 自三寸 至五寸	三〇〇〇尾	沼池	二個	一七六坪	高島郡安曇村青年團
同 十二月二十六日	鯉 自三寸 至五寸	六〇〇尾	沼池	一個	一九五坪	高島郡水尾村青年團宮野支部
同 十二月二十六日	鯉 自三寸 至五寸	一〇〇〇尾	沼池	一個	二〇坪	滋賀郡葛川村農會
同 十二月二十一日	鯉 自三寸 至五寸	二〇〇〇粒	池	二二坪	一七坪	十七箇所
計	鯉 自三寸 至五寸	二〇〇〇粒	池	二二坪	一七坪	一箇所

前年度配付魚兒魚卵ノ飼育成績
 前年度ニ於テ配付シタル箇所十一箇所ノ内本年度取揚ヲ行ヒタルモノ三箇所ニシテ其ノ成績次ノ如シ
 一、栗太郎老上村野路青年會經營溜池 四九〇坪

養魚ノ名	放養月日	放養數量	捕獲月日	捕獲尾數	捕獲總量	取揚ノ魚平均體長	體量
鯉	大正五年 十月二十日	三千二百尾 卅一貫二百尾	大正六年 八月廿八日	千六百五十尾	百二十七貫尾	六寸	七十六尾

投餌量 乾蠶蛹 二百二十八貫尾
 醬油粕 百貫尾
 投餌期間 自四月二十五日
 至八月二十五日

收支計算

支		出		雑		部		計		收入ノ部	
餌料費	魚兒購入代	雑費	合計	取揚魚販賣代	差引利益金						
三貫七匁代 七匁〇〇〇	一千七百尾代 二匁二五〇	一九匁五〇	二八匁〇〇	百〇七匁代 一匁五〇〇	三六匁〇〇						

一、蒲生郡櫻川村大字綺田經營溜池 八七〇九坪
 夏季田養水缺乏ノ爲メ溜池全部放水シタルヲ以テ取揚ゲ稻田ニ放養後旱魃及害敵ノ被害ヲ受ケ成績不良ニ終ル

一、滋賀郡葛川村農會(鱒卵孵化養成)

孵化成績

養魚名	稱魚	收容月日	收容卵數	孵化月日	孵化期中死卵數	孵化後死魚數	放養月日	放養尾數
鱒	卵	大正六年一月二日	二千粒	同年二月廿五日	二百粒	—	同四月六日	一千八百尾

投餌量 鶏卵四分一宛 一日二回投餌ス

飼育成績

養魚名稱	放養月日	放養數	捕獲月日	捕獲尾數	同上体量	取揚時平均体長	取揚時平均体量	飼養中投餌量
鱒兒	大正六年四月六日	一千八百尾	大正七年一月廿五日	一千尾	五匁	三寸	五匁	蠶蛹三十匁

五、鱒兒有償配付

現今縣下ニ於テ副業トシテ養鱒ヲ行フモノアルモ産卵孵化ノ技能設備完タカラズ加フルニ種苗トナスベキ鱒兒同ジキ爲メ高價ヲ以テ他縣ニ仰ギ或ハ其ノ購入困難ナル狀況ニアルヲ以テ將來養鱒事業ノ普及ト獎勵ノ爲メ本年度ニ於テ左記ノ鱒兒實費配付要項ヲ設ケ希望者ニ對シ實費ヲ以テ配付スルコト、シ孵化當歲兒一頭ニ付金五錢ニテ左記八箇所へ三百頭ノ配付ヲ行ヒタリ

配付月日	飼養池面積	鱒配付數	配付者
大正六年十月十二日	三坪	一五頭	犬上郡多賀村土田
同 十月十三日	二坪	一五頭	犬上郡多賀村敏滿寺
同 十月十六日	一五坪	三〇頭	滋賀郡木戸村荒川
同 十月十八日	一〇坪	一五頭	甲賀郡寺庄村深川
同 十月十六日	七〇坪	三〇頭	栗太郡常盤村下寺
			清水音次郎
			藤野清二郎
			木戸秀成
			山本正太郎
			津田惣吉

同	十月二十一日	二四坪	二五頭	甲賀郡山内村	片山弘臨
同	十月二十七日	三八七坪	一〇〇頭	栗太郎物部村淨氣	西村寅松
同	十月三十日	一五〇坪	七〇頭	栗太郎常盤村下物	畑竹次郎
計		六六一坪	三〇〇頭		八名

一〇八

滋賀縣水産試験場鰻兒配付要項

- 第一項 分場ニ於テ孵化シタル鰻兒ハ試験用ヲ除キ從來養鰻業ニ従事セルモノ又ハ従事セントスルモノニシテ相當ノ設備及技能ヲ有スルモノニ限リ希望者ニ實費ヲ以テ配付ス
- 第二項 鰻兒ノ配付ヲ受ケントスルモノハ左記様式ノ願書ヲ毎年八月三十日限リ水産試験場長ニ提出スベシ
- 第三項 鰻兒ノ配付數ハ本場ニ於テ査定ノ上其ノ數量ヲ希望者ニ通知スベシ但シ位置不適當又ハ設備不完全ト認ムルモノハ配付ヲナサルコトアルベシ
- 第四項 養鰻池ノ設備及飼育法ニ付テハ本場ニ於テハ配付希望者ニ指導スベシ
- 第五項 鰻兒配付ノ通知ヲ受ケタルモノハ指定時日内ニ本場へ出頭シ之ヲ受取レベシ但シ請求者ノ希望ニヨリ送付スルコトアルベシ此ノ場合ニ於テハ運搬中ノ斃死及荷造運搬ニ要スル費用ハ請求者ノ負擔トス

願書様式

鰻兒實費拂下願書

- 一、養鰻場ノ位置及名稱(畧圖添付)
- 二、同上面積及水深、池底泥土ノ深サ
- 三、養鰻池ノ構造(注排水口ノ構造及逸出豫防設備)
- 四、鰻方法(餌料ノ種類及投餌方法)
- 五、鰻兒ト混養魚類ヲ放養ノ場合ハ魚ノ種類及數量
- 六、從來養鰻業ニ従事スルモノハ前年ノ成績
- 七、配付請求頭數

右ノ通り養鰻致度候ニ付實費ヲ以テ配付相成度此段及御願候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

場 長 宛

六、親鯉有償配付

農家ノ副業トシテ稻田養鯉ヲ行フモノ、改良發達ニ資センガ爲メ本年度ヨリ左記ノ親鯉實費配付要項ヲ設ケ本場養成ニ係ル親鯉中所要魚ヲ除キ當業者ニ對シ品種優良ナル親魚ヲ配付スルコト、シ本年度ニ於テハ希望者三十八名ニ對シ大正七年三月二十七日及同月二十九日ノ兩日ニ左記ノ通り雌魚百七十二尾雄魚二百六十三尾計四百三十五尾此ノ總体量百〇九貫多ヲ實費價格一貫多ニ付二圓ニテ配付セリ配付ノ箇十及内譯下ノ如シ

配付月日	配付親魚數	雌	雄	體量	實費價格	配付者	氏名
大正七年三月二十七日	七	四	三	二八五〇	五七〇〇	犬上郡東甲良村橫關	奥川鐵次郎
同	七	七	〇	二二〇〇	四六〇〇	同 郡東甲良村法養寺	神野孫次郎
同	七	七	〇	二九〇〇	五九〇〇	同 郡東甲良村橫關	阪間重吉
同	一	七	〇	三〇五〇	六〇〇〇	同 郡東甲良村法養寺	神野清太郎
同	二〇	一〇	一〇	二四〇〇	四八〇〇	同 郡久徳村中川原	岸本覺藏
同	二〇	九	一〇	九二〇〇	一八四〇〇	同 郡河瀬村葛籠町	龜岡文左衛門
同	二	三	一	一四二〇〇	二八四〇〇	同 郡多賀村土田	清水音次郎
同	二	三	一	一七〇〇〇	三四〇〇〇	同 郡久徳村久徳	小財豐次郎

配付月日	配付親魚數	雌	雄	體量	實費價格	配付者	氏名
三月二十一日	一	三	二	一〇五〇	二二〇〇	同 郡同	北澤三次郎
三月二十七日	一〇	八	二	一五〇〇	二二〇〇	愛知郡八木莊村沖	森和
同	八	八	〇	二六五〇	二五三〇〇	同 郡秦川村輕野	稻本新太郎
同	三	一	二	二二五〇	二二五〇〇	同 郡春川村安孫子	瀬川札彌
同	三	一	二	二五〇〇	五〇〇〇	同 郡東押立村今在家	中居半七
同	三	一	二	二二五〇	四五〇〇	同 郡東押立村小八木	上野留吉
同	五	七	二	五二〇〇	一〇四〇〇	犬上郡千本村大堀	安澤菅太郎
同	七	四	三	三一九〇	六三八〇	同 郡同	西村政吉
同	七	四	三	五〇二〇	一〇〇四〇	同 郡同	安澤金吉
同	三	二	一	五三二〇	一〇六四〇	同 郡同	堤傳之助
同	三	二	一	一七〇	二三四〇	同 郡同	小堀彌七郎
同	三	二	一	一四九〇	二九八〇	同 郡同	小堀彌三吉
同	三	二	一	二一五〇	四三〇〇	同 郡同	西村林彌
同	七	四	三	四六四〇	九八八〇	同 郡同	西村與平
同	六	四	二	一五三〇	三〇六〇	同 郡同	北川小平
同	三	一	二	一六七〇	三三四〇	同 郡同	西村外一名
同	三	一	二	九五〇	一九〇〇	同 郡同	北川末次郎
同	三	一	二	一三九〇	二七八〇	同 郡同	西村善太郎
同	三	一	二	四五四〇	九〇八〇	同 郡同	北川音彌

三月二十九日	三	三	九〇〇	一八〇〇	同	同	同	北川久四郎
同日	二	三	一五〇〇	三〇六〇	同	同	同	西村七彌
同日	二	四	七五〇	三六〇〇	同	同	同	堤菅藏
同日	二	四	一五〇〇	一五〇〇	同	同	同	北川外彌
計	一七	二六	一〇九〇〇〇	二八〇〇〇	同	同	同	西村與三太郎
								三八名

一一二

滋賀縣水産試験場親鯉實費配付要項

- 第一項 本場ニ於テ養成シタル親鯉ハ本場所用魚ヲ除キ稻田養鯉業者及鯉苗養殖業者ニシテ配付ヲ希望スル者ニ對シ實費ヲ以テ配付ス
- 第二項 親魚ノ配付ノ期日ヲ毎年三月トシ配付ヲ受ケントスルモノハ左記様式ノ願書ヲ前年ノ十二月二十八日限リ水産試験場長ニ提出スベシ
- 第三項 親鯉ノ配付數ハ本場ニ於テ査定ノ上其ノ數量ヲ希望者ニ通知スベシ但シ位置及設備不適當ト認ムルモノハ配付ヲナサルコトアルベシ
- 第四項 配付ノ親鯉實費價格ハ水産試験場長ノ定ムル處ニヨル第五項親鯉ノ産卵及飼育法ニ付テハ本場ニ於テ指導スベシ
- 第六項 親鯉配付ノ通知ヲ受ケタルモノハ指定時日內ニ本場へ出頭シ配付魚ヲ受取ルベシ

願書様式

親鯉實費配付願書

- 一、親鯉飼養池ノ位置及面積、親魚飼養數
- 二、鯉兒養成ヲ行フベキ稻田及養魚池面積
- 三、配付請求尾數(雌雄別)

右ハ貴場御指導ノ下ニ自家養鯉致度候ニ付キ貴場養成ノ親魚實費ヲ以テ配付相成度此段及御願候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

場 長 宛

七、講話及指導

水産講話トシテ漁業組合其ノ他ノ要求ニヨリ或ハ便宜ノ期ニ於テ場員ヲ派遣シ民間養魚ノ實地指導及講話ヲナスコト十三回延十九日間トス

尙縣下ニ於テ親鯉ヲ飼養シ鯉魚ノ養殖ヲ行フモノニ對シ採卵孵化養成ノ方法ヲ指導シ本場ニ於テ養成シ

一一三

タル親魚ノ實費配付ヲナシタル以外ニ尙親魚ノ撰定購入斡旋ヲナシタルモノ九箇所之ノ交付親魚數五十八尾トス

縣下養魚概況 (大正七年一月)

(各郡役所調)

溜池、池沼利用養鯉

郡市別	溜池 池沼	溜池 池沼	同上	同上	同上
養魚者數	面積	放養尾數	收穫量	價格	
大津	一	六〇〇〇	一	三六〇〇〇	六八〇〇〇
滋賀	一七	二六〇七〇	一七二八〇	一〇〇一五〇〇	一七五五〇〇
栗太	一五三	一四九二二四	一三二七九	九二四二四〇〇	二八四六〇〇〇
野洲	三四	二六八二〇〇	二六七五〇	五九五〇〇〇〇	七九四〇〇〇
甲賀	三五	二〇二二三	一三〇〇〇	四五五〇〇〇〇	七七六〇〇〇
蒲生	二六	四〇〇〇	五〇〇	七〇〇〇	九〇〇〇
神崎	二五	四七二〇〇	八二八〇	二四四〇〇〇	三八〇七〇〇
計	二五五	一三二七〇〇〇	四二一〇一	二五〇六〇〇〇	四三三三〇〇〇

稻田利用養鯉

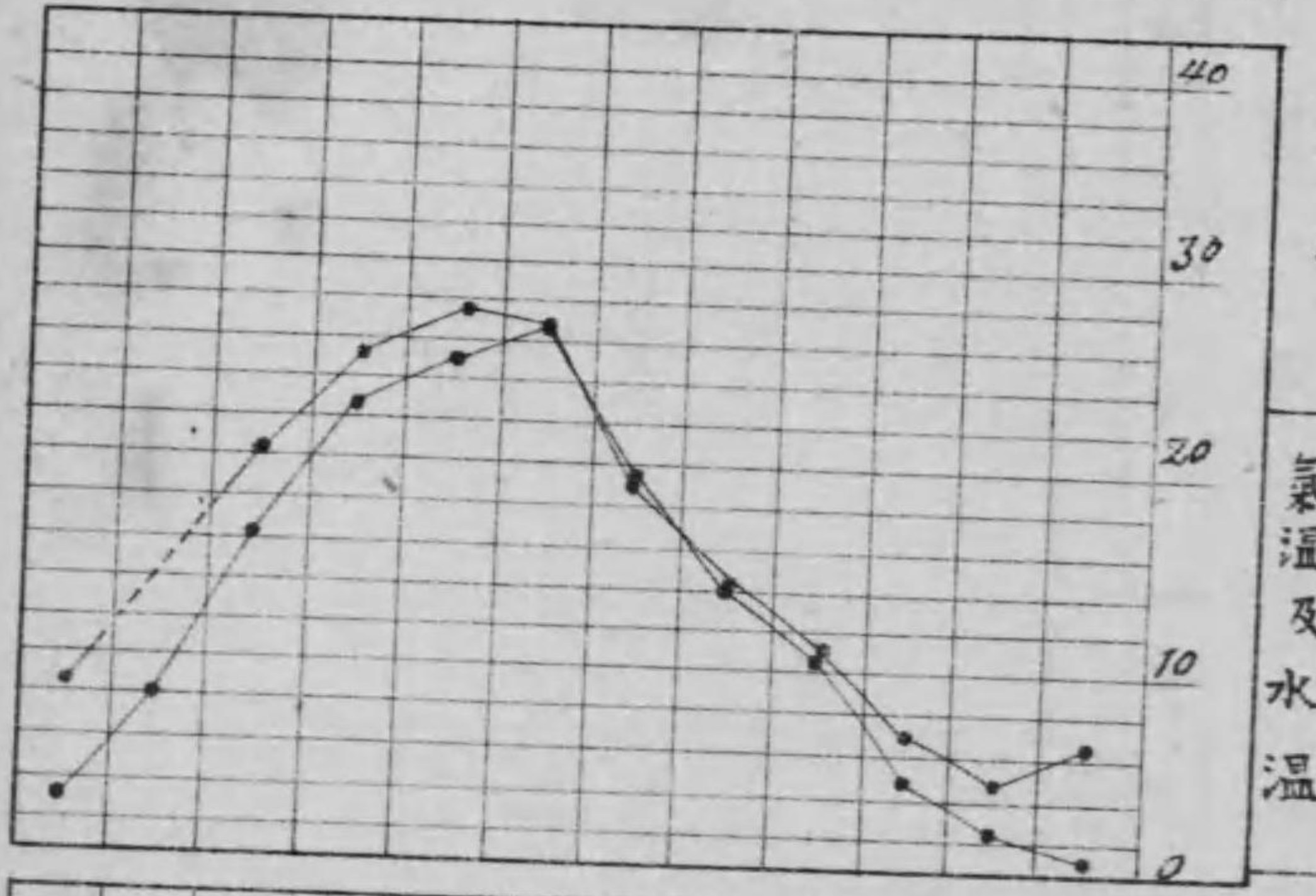
郡市別	養魚者數	稻田面積	放養尾數	收穫量	價格
愛知	一	四九三八八	八三〇八四	八二六〇〇〇	一、二八五〇〇〇
犬上	一七	六〇五六一	五二〇〇〇	一四二〇〇〇	一、三〇〇〇〇〇
坂田	三三	七九六二八	四七九〇〇	三、七四〇〇〇	六、一五二〇〇〇
東井	二五	二八八六〇	三三、八〇〇	二八二〇〇〇	三、四四〇〇〇
伊香	七一	一六四〇二	二四八〇〇	二〇八四八〇〇	二、四六一、四〇〇
高島	三一	一、三七一〇	八、一〇〇	三三〇〇〇	三、三〇〇〇
伊香	一四	三〇八〇一	六、五〇〇	三三〇〇〇	七、一〇〇〇〇
計	一〇五	二九〇二四	七、六〇〇	三、八〇〇〇	三、七八〇〇〇
計	一四	一一、一〇六	二〇、〇〇〇	七、一〇〇〇	一〇一、〇〇〇
計	??	四、六七一〇	四、一五二四	三、七五二七〇	三、四一、四〇〇
計	??	一、八、五六一	一六八、四〇〇	三、三九〇、〇〇〇	四、一五、四〇〇

郡市別	養魚者數	稻田面積	放養尾數	收穫量	價格
大津	一	九三〇一一	六五、九七五	五、七、一五〇	九、五、六二〇〇
滋賀	二五六	三五、一七〇〇	二、六、七、五二〇	一、六、七、一、三〇〇	二、三、一、六、〇〇〇
栗太	五三九	一、六、七、〇〇〇	一、六、七、〇〇〇	一、七、九、〇〇〇	二、九、五、〇〇〇
野洲	四三	一、六、七、〇〇〇	一、六、七、〇〇〇	一、七、九、〇〇〇	二、九、五、〇〇〇

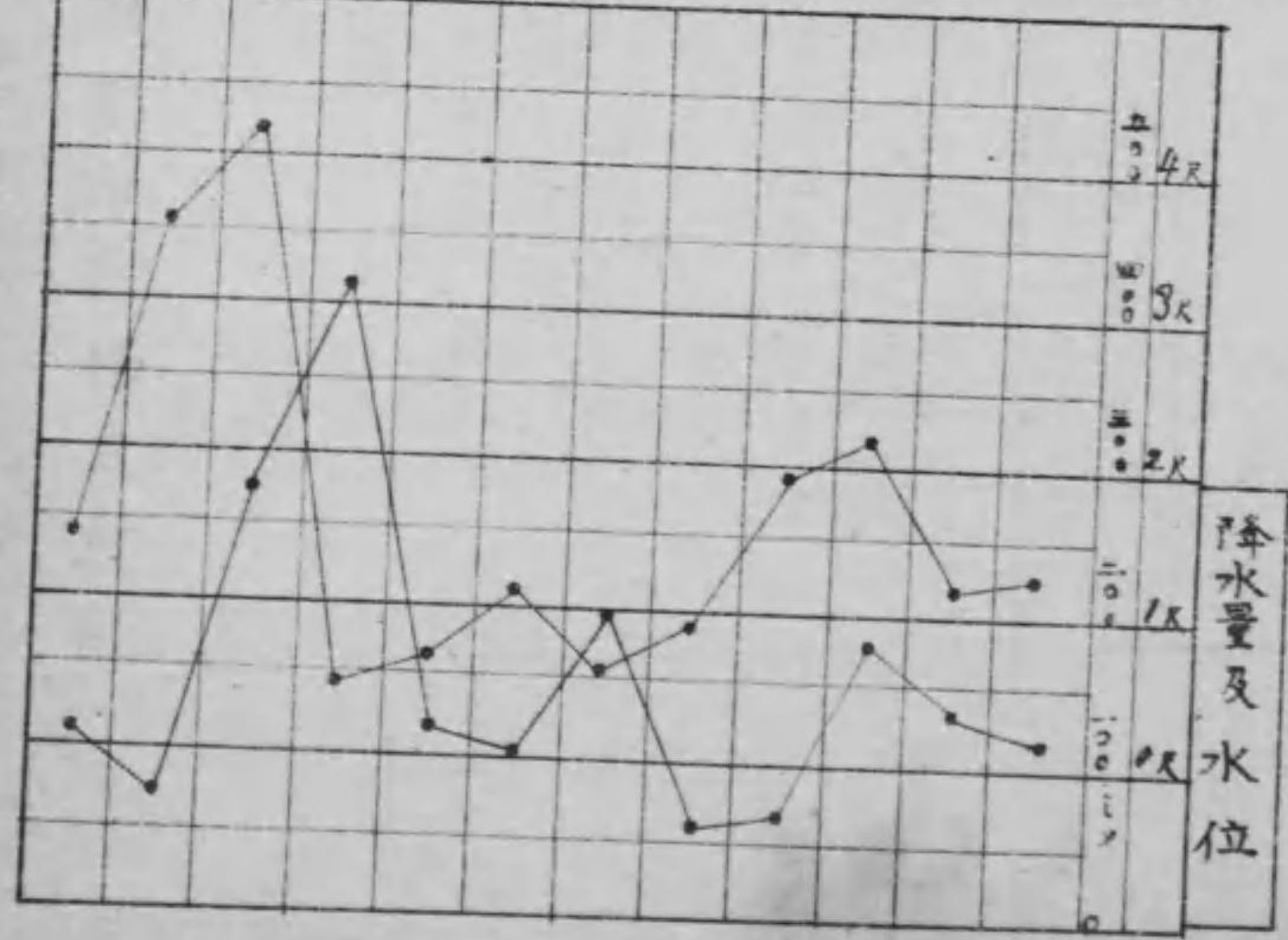
大正六年度琵琶湖水温水位表

气温及降水量ハ彦根ニ於ケル観測ニ依ル

月次	平均气温	平均水温	降水量	平均水位
一月	一.四	六.一	一一.三九	一.二三
二月	二.二	五.六	一一.九八	一.二二
三月	五.二	七.五	一七.三八	一.二六
四月	一.〇	一.二	六.六八	一.九六
五月	一.四〇	一.四一	五.二六	〇.八一
六月	一九.七	一九.一	一八.七〇	〇.五一
七月	二五.五	二六.三	一〇.三七	一.〇六
八月	二五.二	二六.七	一四.四	〇.六七
九月	二五.〇	二五.八	四.一〇	〇.四八
十月	一六.九	二〇.二	二七.三	四.一三
十一月	八.〇	七.四	七.四	三.五六
十二月	三.五	八.七	一九.六	一.四一



气温及水温



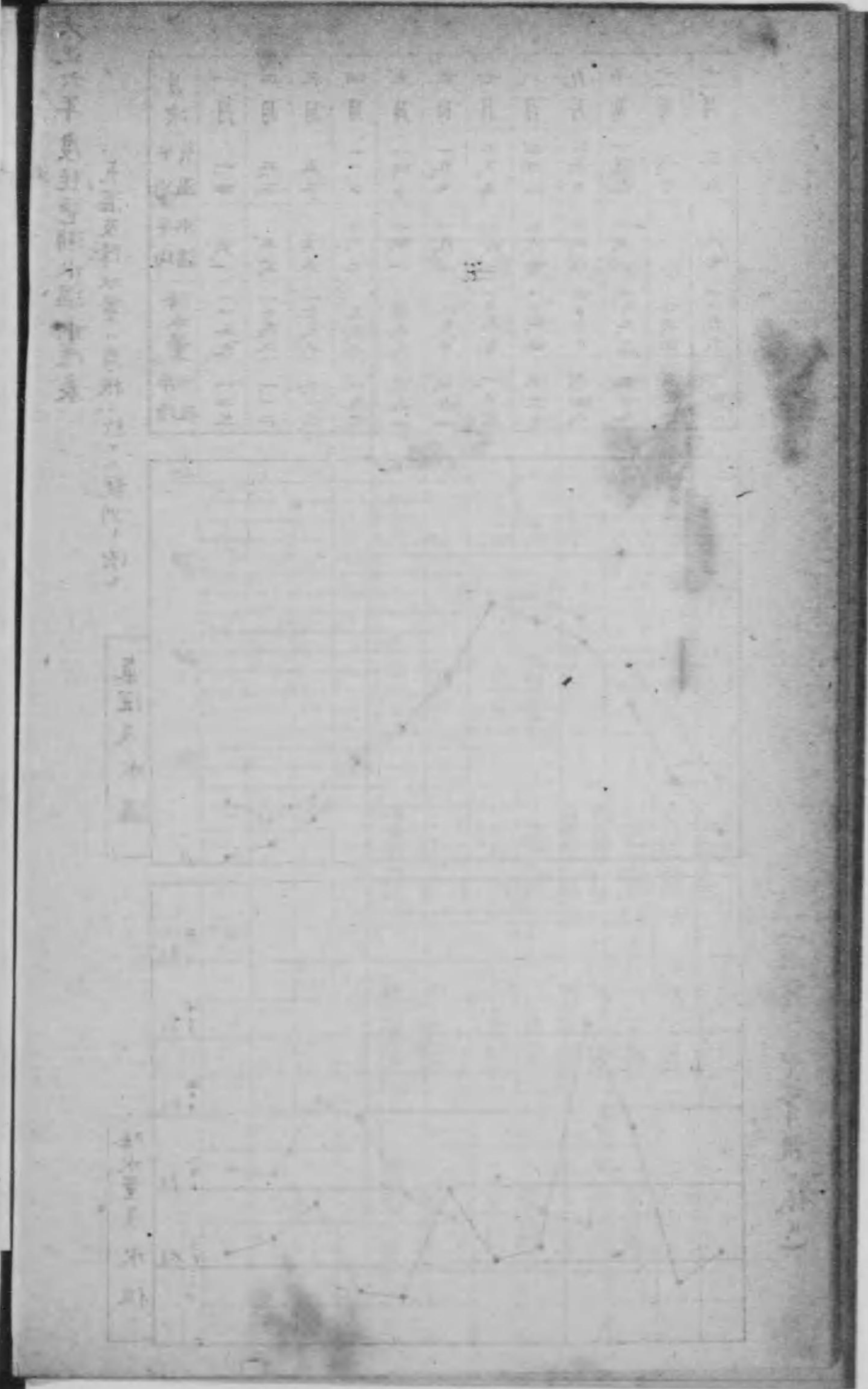
降水量及水位

(滋賀縣気象月報ニ依ル)

甲賀	蒲生	神崎	愛知	犬上	坂田	東井	伊香	高島	計
一.一〇三	一.一五五	二.四七	九.四一	七.六八	三.四	五	八	五.二九	
七.七三〇〇〇	二.四四〇〇〇	三.二四二七	一.七三二〇〇	一五.〇九二〇	三.四一〇九	二.一五	一.〇〇一〇	五.六二〇二	
一.八五八五二	二.七二五四〇	一.三五二七四〇	四.八四八〇一五	二.五八〇〇〇〇	一〇.一〇〇〇	八.二〇〇	一五.〇〇〇	九.八六三.四二	
一.一八三.〇〇〇	一.八九三.〇〇〇	一.〇七九九〇〇	三.二八〇三〇〇	四.一〇五〇〇〇	一.三八九四〇	五.五〇〇〇	二.五二五〇	一四.二七六七〇	
一.七三〇.〇〇〇	二.六八四.〇〇〇	一.九八八.六六〇	四.〇七八.〇〇〇	五.九二.〇〇〇	二〇.六四四〇	一〇.五〇〇〇	四.九〇.〇〇〇	二〇.三三七.〇〇〇	

正誤表

頁	行	誤	正
表中 三三	二	採卵ニ 七、七二%	採卵ニ 七、七%
表中 三三	四	七月一八日 センチメートル 發生等ナリ	七月一八日 センチメートル 發生等ナリ
表中 三三	八	本放流船 沿湖ニ於テ	本場放流船 沿湖各所ニ於テ
表中 三三	九	第四禁漁區 〇、〇六	第二禁漁區 〇、〇六
表中 三三	一〇	糶 六七〇	糶 六七〇
表中 三三	一三	採卵數 終始收	採卵數 收容數
表中 三三	一五	二月二十一日	十二月二十一日
表中 三三	二二	十二月二日	十一月二日
表中 三三	二五	抽出數 三一	抽出數 三一
表中 三三	二六	八六、一	八六、二
表中 三三	二七	五〇、五	一〇、五
表中 三三	二八	方法業 寸六分及至七寸四分八分	方法等 寸六分及至七寸八分
表中 三三	二九	〇一、八四〇	〇二、八四〇
表中 三三	三〇	殖試験 三、〇一四、〇	養殖試験 二、〇一四、〇
表中 三三	三三	一九、八	一九、〇
表中 三三	三三	一〇、八	一、八
表中 三三	三三	一、五	一、九
表中 三三	三三	第二、號池	第二、四號池
表中 三三	三三	モノナリ	モノナリ
表中 三三	三三	其ノ他ノ如シ	其ノ他ノ如シ
表中 三三	三三	五月廿一日	五月卅一日
表中 三三	三三	一五、〇	一五、七
表中 三三	三三	五、一	五、二
表中 三三	三三	記事欄へ(放棄)ヲ記入	記事欄ノ(放棄)ヲ採殺ス
表中 三三	三三	前記死魚	前記死魚
表中 三三	三三	要アルト	要アルト
表中 三三	三三	八三一	九三一
表中 三三	三三	排水ツ	排水ツ
表中 三三	三三	五月六日	五月七日
表中 三三	三三	一月廿日	二月廿四日
表中 三三	三三	水藻殺	水藻發生
表中 三三	三三	(〇、三五)	(〇、三五)
表中 三三	三三	坪當リ數	坪當リ數
表中 三三	三三	(二、八)	(二、八)
表中 三三	三三	(二、二)	(二、二)
表中 三三	三三	(六、九、一)	(六、九、一)
表中 三三	三三	〇、一	〇、二
表中 三三	三三	鮎兒	鮎兒
表中 三三	三三	同試験	本試験
表中 三三	三三	凡場	本場
表中 三三	三三	雌介ノ類	雌介ノ數
表中 三三	三三	Midi	Midi
表中 三三	三三	〇猶	〇猶
表中 三三	三三	内桁	介桁
表中 三三	三三	網目ヨリ	網目ヨリ
表中 三三	三三	一萬二千	一萬二千
表中 三三	三三	六、三〇二	六、三〇〇
表中 三三	三三	分場	本場
表中 三三	三三	十及	所及



終

